本書の構成

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための注意事項や、本書で使用している表記について説明して います。

第1章 リモートマネージメント コントローラの概要

この章では、リモートマネージメントコントローラの概要、ご使用になる上での留意 事項について説明しています。リモートマネージメントコントローラをお使いになる 前に必ずお読みください。

第2章 準備

この章では、リモートマネージメントコントローラを使用する前の準備について説明 しています。

第3章 起動と終了

この章では、リモートマネージメントコントローラの Web インターフェースの起動と 終了方法について説明しています。

第4章 情報の参照と設定

この章では、リモートマネージメントコントローラの Web インターフェースの各画面 の意味と設定について説明しています。

本書をお読みになる前に

■ 本書の表記

本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

修重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みく ださい。
POINT	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてありま す。必ずお読みください。
\rightarrow	参照ページや参照マニュアルを示しています。

● キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説 明に必要な文字を次のように記述しています。

[M : [Ctrl] キー、[Enter] キー、[] キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。 例:【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

▶ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつないで表記しています。

 例: 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリック する操作
 ↓
 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

● コマンド入力(キー入力)

本文中では、コマンド入力を以下のように表記しています。

diskcopy a: a: ↑ ↑

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してくだ さい。
- 上記のようなコマンド入力について、英小文字で表記していますが、英大文字で入力して もかまいません。
- ご使用の環境によって、「¥」が「\」と表示される場合があります。
- CD-ROM ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ] で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。
 [CD-ROM ドライブ]:¥setup.exe

▶ Linux の操作について

お使いのバージョンにより、CD-ROM ドライブおよびフロッピーディスクドライブへのマウ ントコマンドが異なります。本書で「/mnt/cdrom/または /media/cdrom/または /media/ cdrecorder/」、「mnt または media/floppy」と記載している操作については、お使いのバージョ ンにより、以下の操作に読み替えてください。

- RHEL-AS4(x86)/ES4(x86)/AS4(IPF)の場合 /media/cdrecorder、/media/floppy
- ・ RHEL5(x86)/RHEL5(Intel64)/RHEL-AS4(EM64T)/ES4(EM64T) の場合 /media/cdrom、/media/floppy



▶ RHEL5(x86)/RHEL5(Intel64)の場合、マウント処理は以下の手順で行ってください。

 RHEL-AS3(x86)/AS3(IPF)/ES3(x86)の場合 /mnt/cdrom、/mnt/floppy

● 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、および ファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラスト は説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

● 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

衣:殺血石朴の略		
製品名称	本文中の表記	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Standard Edition Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Enterprise Edition	Windows Server 2003	Windows
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Standard x64 Edition		
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Enterprise x64 Edition		
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Enterprise Edition for		
Itanium-based Systems		
Microsoft [®] Windows [®] Small Business Server 2003		
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2 Standard Edition	Windows Server 2003 R2	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2 Enterprise Edition		
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2 Standard x64 Edition		
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2 Enterprise x64 Edition		
Microsoft [®] Windows [®] Small Business Server 2003 R2		
Microsoft [®] Windows [®] Storage Server 2003 R2, Standard		
Edition		
Microsoft [®] Windows [®] 2000 Server	Windows 2000 Server	
Microsoft [®] Windows [®] 2000 Advanced Server		
Microsoft [®] Windows [®] Server Network Operating System Version 4.0	Windows NT	
Microsoft [®] Windows NT [®] Server, Enterprise Edition 4.0		
Microsoft [®] Windows [®] XP Professional	Windows XP	
Microsoft [®] Windows [®] 2000 Professional	Windows 2000	
${\rm Microsoft}^{\circledast}{\rm Windows}{\rm NT}^{\circledast}{\rm Workstation}$ Operating System 4.0	Windows NT 4.0	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	Red Hat Linux	Linux
	RHEL5(x86)	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	RHEL5(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	RHEL-AS4(x86)	
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	RHEL-ES4(x86)	
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	RHEL-AS4(EM64T)	
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	RHEL-ES4(EM64T)	
Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for x86)	RHEL-AS3(x86)	
Red Hat Enterprise Linux AS (v.3 for Itanium)	RHEL-AS3(IPF)	
Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)	RHEL-ES3(x86)	
SUSE [™] Linux [®] Enterprise Server 9 for x86	SUSE Linux	
	SLES9(x86)	
Intel LANDesk [®] Server Manager	LDSM	
リモートサービスボード	リモートサービスボード	
(PG-RSB102 / PG-RSB103 / PG-RSB104 / PG-RSB105)		

■ 参考情報

● iRMC 説明書について

本書で説明する事項以外で、参考となる情報や留意事項は、「iRMC 説明書」に記載されてい ます。リモートマネージメントコントローラをお使いになる前に、必ずお読みください。 「iRMC 説明書」は、"iRMC_Hints.txt" というファイル名で、PRIMERGY ドキュメント & ツー ル CD に格納されています。テキストエディタなどで開いてお読みください。

● 機種による制限事項、サポート OS について

お使いの機種によっては一部機能が制限される場合があります。機種ごとの制限事項については、「iRMC 説明書」(iRMC_Hints.txt)内に記載されています。リモートマネージメントコントローラをお使いになる前に、ご確認ください。

本書に記載されている OS は、機種によってはサポートされていない場合があります。サーバのサポート OS については、各サーバに添付のマニュアルでご確認ください。

● ServerView に関する最新情報について

ServerView に関する最新の情報は、インターネット情報ページ (http://primeserver.fujitsu.com/primergy/) に記載されています。

■ 商標

VGA、PS/2 は、米国 IBM の米国での登録商標です。 Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国におけ る登録商標または商標です。 インテル、Intel、Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標ま たは登録商標です。 Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。 Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標ま たは登録商標です。 SUSE は、米国およびその他の国における Novell Inc. の商標です。 その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2007

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

目 次

第1章 リモートマネージメントコントローラの概要

1.1	リモートマネージメントコントローラとは	10
	1.1.1 対応機種と機能	10
1.2	2 留意事項	11

第2章 準備

2.1	準備	14
	2.1.1 IP アドレスの設定	.14
	2.1.2 ユーザ名とパスワードの設定	.14

第3章 起動と終了

3.1 Webインターフェースの起動	 18
3.1.1 Web インターフェースのメニュー一覧	 .19
3.2 Webインターフェースの終了	 22

第4章 情報の参照と設定

4.1 System Information	24
4.2 iRMC S2	26
4.2.1 iRMC S2 Information	26
4.2.2 リモートマネージメントコントローラのライセンスキー設定	27
4.2.3 Save iRMC S2 Firmware Settings	28
4.2.4 Certificate Upload	29
4.2.5 Generate a self signed RSA Certificate	30
4.3 Power Management	32
4.3.1 Power On/Off	32
4.3.2 Power Options	34
4.3.3 Power Supply Information	34
4.3.4 Power Consumption	36
4.4 Sensors	38
4.4.1 Fans	38
4.4.2 Temperature	41
4.4.3 Voltages and Current	43
4.4.4 Power Supply	44
4.4.5 Component Status	45
4.5 System Event Log	46
4.5.1 System Event Log Content	46
4.5.2 System Event Log Configuration	48
4.6 Server Management Information	49

4.7 Network Settings 5	51
4.7.1 Network Interface	51
4.7.2 Ports and Network Services	52
4.7.3 DHCP Configuration	54
4.7.4 DNS Configuration	55
4.8 Alerting 5	56
4.8.1 SNMP Trap Alerting	56
4.8.2 Email Alerting	57
4.9 User Management 5	59
4.9.1 User Management	59
4.9.2 Directory Service Configuration	64
4.10 Console Redirection	66
4.10.1 BIOS Text Console	66
4.10.2 Advanced Video Redirection	67
4.10.3 Video Redirection の画面構成	70
4.10.4 マウスカーソルのシンクロ動作設定	71
4.10.5 リモートストレージ接続	73
4.10.6 グラフィカルキーボード	76
4.10.7 マウス、キーボードの設定	76
4.11 Remote Storage	78
4.12 iRMC SSH Access	30
4.12.1 接続方法と終了方法	80
4.12.2 メインメニュー	81
4.13 iRMC Telnet Access	32
4.14 Session Logout	83

第1章

リモートマネ コントローラの概要

この章では、リモートマネージメントコント ローラの概要について説明します。

1.1	リモートマネージメントコントローラとは	10
1.2	留意事項	11

1.1 リモートマネージメントコントローラと は

リモートマネージメントコントローラとは、ベースボード(On Board)に搭載される Baseboard Management Controller(BMC)にリモートサービスボード(RSB)の機能を付加し、リモート環境からサーバの状態確認や設定、電源制御などを行える機能です。 ここでは、リモートマネージメントコントローラにリモートからアクセスし、操作

ここでは、リモートマネージメントコントローラにリモートからアクセスし、操作 するための Web インターフェースについて説明します。

1.1.1 対応機種と機能

● リモートマネージメントコントローラ の対応機種

リモートマネージメントコントローラには、通常の iRMC と、メモリや CPU の予防保守機能 「PDA」を拡張した iRMC S2 があります。iRMC、iRMC S2 は IPMI2.0 をサポートしており、 それぞれ搭載されるサーバが異なります。

● リモートマネージメントコントローラの Web インターフェースの機能

リモートマネージメントコントローラ の Web インターフェースには、以下の機能がありま す。

- システム情報の表示→「4.1 System Information」(P.24)
- サーバの操作(再起動、電源投入/切断)→「4.3 Power Management」(P.32)
- 各センサの状態表示(ファン、温度、電圧、電源)→「4.4 Sensors」(P.38)
- ログの表示→「4.5 System Event Log」 (P.46)
- サーバ管理情報の表示と設定→「4.6 Server Management Information」(P.49)
- ネットワークの設定→「4.7 Network Settings」(P.51)
- アラート送信→「4.8 Alerting」(P.56)
- ユーザ情報の表示と設定→「4.9 User Management」(P.59)
- Video Redirection とリモートストレージ接続→「4.10 Console Redirection」(P.66)

修重要

- ▶ リモートマネージメントコントローラは、ベースボード上では BMC (Baseboard Management Controller)の一部となるため、統合されて [iRMC] / [iRMC S2] と表示されます。 以降の説明において [iRMC] と表記している箇所は iRMC / iRMC S2 共通、[iRMC S2] と表記している箇所は iRMC S2 のみに対応した機能です。また、特定のバージョン以降で対応された機能は ([Vx.xxA] 以降)と表記します。
- Advanced Video Redirection およびリモートストレージ接続の機能を使用するには、専用のライセン スキー(オプション品)が別途必要です。
- ▶ 画面データおよび画面の説明は、機種、構成、版数により表示されない場合があります。

1.2 留意事項

リモートマネージメントコントローラをお使いになる上での留意事項について説明 します。

■ セキュリティについて

リモートマネージメントコントローラの扱う情報の中には、管理者名などの個人情報や、そ の他の重要情報が含まれています。本装置を外部からアクセスできるドメインに設置する場 合は、設定した情報が外部からアクセスされないようセキュリティに十分ご注意いただくと 共に、設定する内容についても必要最小限に留めるようご対応をお願いします。

■ その他の留意事項

- リモートマネージメントコントローラはハードウェア(サーバ本体)の一部です。Webインターフェースの表示は、すべて英語になります。
- Java[™] 2 Runtime Environment Standard Edition V1.4.2_10 以降の JRE が必要です。
 ただし、Java[™] 2 Runtime Environment Standard Edition V1.6.0 以降の JRE は、iRMC V1.66A 以降の iRMC が必要です。
 iRMC V1.66A より前の iRMC に Java[™] 2 Runtime Environment Standard Edition V1.6.0 以降の

JRE を使用すると、Video Redirection が動作しません。

- リモートマネージメントコントローラアクセス用に個別の IP アドレスが必要です(DHCP でも可能です)。
- 機種により、リモートマネージメントコントローラに接続する LAN ポートが決まっています。サーバ本体に添付の『ユーザーズガイド』を参照し、正しい LAN ポートに接続してください。
- シリアル接続による制御は、サーバ本体に添付の『ユーザーズガイド』を参照してください。
- 以下の接続方法および設定については、未サポートです。
 - ・Serial / Modem Alerting 機能
 - ・動作 Shell を「SMASH CLP/CLI」に設定した場合のリモートマネージャ接続、またはリ モートマネージャ接続中に Shell を「SMASH CLP/CLI」に設定した場合の動作
- リモートマネージメントコントローラのWebインターフェースでは、以下のブラウザの みをサポートします。
 - Winsows

Microsoft Internet Explorer 6.0 以降

• Linux

Mozilla FireFox

修 重要

- Mozilla FireFox の V1.5.0.7 以降のバージョンは iRMC V1.66A 以降でサポートします。
 V1.66A より前バージョンの iRMC へ Mozilla FireFox でアクセスする場合は、V1.5.0.6 以前のバージョンをご使用ください。
- Microsoft Internet Explorer 7でiRMCへアクセスすると何度もログインが要求される場合 があります。その場合は、以下の URL にあるマイクロソフトのパッチを適用してくだ さい。

http://support.microsoft.com/kb/904942/ja



2.1 準備

リモートマネージメントコントローラ の Web インターフェースおよびリモートマ ネージャへのアクセス用に、IP アドレス/ユーザ名/パスワードを設定します。

2.1.1 IP アドレスの設定

初期状態では、DHCPが「無効」に設定されているため、IPアドレスの設定が必要です。 IPアドレスを個別に設定する場合は、Server Management Tools(IPMIview)やWebインター フェースを利用するか、BIOS セットアップユーティリティで設定してください。

POINT

現在設定されている IP アドレスが不明な場合は、Server Management Tools (IPMIview) で確認できます。

2.1.2 ユーザ名とパスワードの設定

リモートマネージメントコントローラへアクセスするためのユーザ名とパスワードは、初期 状態で以下のように設定されています。

表:初期登録ユーザ名とパスワー	۴
-----------------	---

ユーザ名	パスワード	アクセスレベル/ 動作 Shell 種別
admin	admin	OEM / RemoteManager

ユーザ名とパスワードを個別に設定する場合は、Server Management Tools (IPMIview)または Web インターフェースを利用して設定してください。

POINT

▶ 現在設定されているユーザ名/パスワードが不明な場合は、Server Management Tools (IPMIview) で確認できます。

■ Server Management Tools (IPMIview) を使用した設定方法

Server Management Tools (IPMIview) を使用して、IP アドレス/ユーザ名/パスワードを設定する方法について説明します。

 IPMIVIEW.exeが入ったDOSの起動フロッピーディスクからIPMIVIEWを起動 します。

>ipmiview.exe

2 IPMIVIEW のメニューより目的のメニューを選択します。

FUJ ITSU STEMENS IPMI-Tool-V1.28 COMPUTERS	
General Information Temperature Information Fan Information Woltage Information Current Information Processor Information Processor Information System Event Log (SEL) FRU Information (ID Proms) User Management Channel Configuration (LAN < Serial) SDR-R Viewer FSC/System Specific Functions	
<pre> Start</pre>	

<u>iRMC の IP アドレス設定</u>

- 1. メニューより「Channel Configuration (LAN / Serial)」を選択します。
- 2. メニューより「2802.3_LAN」を選択します。
- 3. 【F1】キー(General Settings)を押します。
- 各項目を設定します。 IPAddressSourceには、3を設定してください。
- 5.【F1】キー(SetValues)を押して、設定を格納し終了します。
- iRMC のユーザ名/パスワード設定
 - 1. メニューより「User Management」を選択します。
 - ユーザー覧より変更したいユーザ名(追加の場合は設定されていない番号)を選 択します。
 - 3. ユーザ名、パスワード、各権限を設定します。
 - 4. 【F1】キー(SetValues)を押して、設定を格納し終了します。
- 3 【Esc】キーを押して、IPMIVIEW を終了します。

第2章 準備



3.1	Web インターフェースの起動	 18
3.2	Web インターフェースの終了	 22

3.1 Web インターフェースの起動

リモートマネージメントコントローラ の Web インターフェースの起動方法につい て説明します。

POINT

- ▶ リモートマネージメントコントローラのWebインターフェースでは、Javaまたは JavaScriptを使用します。Webブラウザ側で、Javaまたは JavaScriptを使用できるように設定してください。
- ▶ 自サーバのリモートマネージメントコントローラ Web インターフェースを自サーバの OS 上からアク セスする際、iRMC の LAN ポートを OS の LAN ポートと共用している場合には、OS の該当 LAN ポートを無効に設定してください。
- ▶ 以降の説明は「iRMC S2」の画面を元に行います。 「iRMC」とは画面構成が若干違いますが、特に断りがない限り読み替えてご利用願います。

リモートマネージメントコントローラの Web インターフェースの起動には、Web ブラウザを 使用します。

1 Web ブラウザを起動します。

2 Web ブラウザのアドレス欄に、以下のように入力します。

<u>http を利用する場合</u>

http:// <リモートマネージメントコントローラに設定した IP > : <ポート番号(デ フォルトは 80) >

https を利用する場合

https:// <リモートマネージメントコントローラに設定した IP > : <ポート番号(デ フォルトは 443) >

3 【Enter】キーを押します。

ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。

×
必要 さ

4 リモートマネージメントコントローラに設定したユーザー名とパスワードを 入力し、[OK] をクリックします。

Web インターフェースのメイン画面が表示されます。

FUĴĨTSU		RemoteView
We make sure		
PRIMERGY	RemoteView@IRMC S2 Web Server	
RX200S4W2K3_64	System Information	
	System Status	
 Power Management Sensors System Event Log Server Management Network Settings 	Error LED off CSS LED off Jeardify LED off Toggie DwDff	
i≊ Alerting i User Management	Pueters Deard Information	
Console Redirection Remote Storage IRMC S2 SSH Access IRMC S2 Telnet Access Logout	System Type PRIMEROY R/200 94 Chassis Type R/200 94R Serial Y180 Soccocx Bios Version 4.00 Rev. 0.08A.207 1 System CUD 00000000000000000000000000000000000	
Refresh	Ongrating System Information	
	System Name RX20094402/32_04 System Nors Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition (x04 Edition) System IP 10.21.136.202 System Location System Consta	
	System FRU / IDPROM Information	
	FRU Manufacturer Product Name Serial Part Name Number Number Con Chavis FSC PRIMEROY RX2015 64 VIRR0vxxxx	CSS nponent
⊜ 2000-2007 Fujitsu Siemens		

POINT

▶ ServerView S2の「リモートマネージャ」画面からリモートマネージメントコントローラ Web イン ターフェースを起動することもできます。

3.1.1 Web インターフェースのメニュー一覧

Web インターフェースのメニューについて説明します。

表	÷	Web	イ	ンタ	ーフ	'エー	スの	メニ	<u>л</u> -
---	---	-----	---	----	----	-----	----	----	------------

	メニュー	説明		
Sys	stem Information	リモートマネージメントコントローラが動作しているシステムの情報を表		
		示します。		
		\rightarrow [4.1 System Information] (P.24)		
iRI	MC S2	リモートマネージメントコントローラに関する表示、設定を行います。		
	iRMC S2 Information	リモートマネージメントコントローラに関する情報を表示します。		
		\rightarrow [4.2.1 iRMC S2 Information] (P.26)		
	Save Configuration	リモートマネージメントコントローラの情報をセーブします([V1.66A]		
		以降)。		
		\rightarrow [4.2.3 Save iRMC S2 Firmware Settings] (P.28)		
	Certificate Upload	リモートマネージメントコントローラの認証データを設定します		
		([V1.66A] 以降)。		
		\rightarrow [4.2.4 Certificate Upload] (P.29)		
	Generate Certificate	リモートマネージメントコントローラで RSA 認証を取得します		
		([V1.66A] 以降)。		
		\rightarrow [4.2.5 Generate a self signed RSA Certificate] (P.30)		

メニュー		説明
Pov	wer Management	電源制御に関する設定を行います。
	Power On/Off	 サーバの電源状態を表示します。また、サーバの電源の ON/OFF や再起動 を行います。 →「4.3.1 Power On/Off」(P.32)
	Power Options	AC 復帰時の動作設定やスケジュール運転の設定を行います。 →「4.3.2 Power Options」(P.34)
	Power Supply Info	サーバに接続されている Power Supply (電源装置)の情報を表示します。 →「4.3.3 Power Supply Information」(P.34)
	Power Consumption	消費電力に対する動作設定を行います([iRMC S2]のみ)。 →「4.3.4 Power Consumption」(P.36)
Ser	ISOTS	サーバ内の各センサの状態を表示します。
	Fans	ファンの状態表示と異常時の動作設定を行います。 →「4.4.1 Fans」(P.38)
	Temperature	温度センサの状態表示と異常時の動作設定を行います。 →「4.4.2 Temperature」(P.41)
	Voltages	サーバ内の電圧と電流の状態を表示します。 →「4.4.3 Voltages and Current」(P.43)
	Power Supply	電源ユニットの状態を表示します。 →「4.4.4 Power Supply」 (P.44)
	Component Status	各センサの状態を表示します。 →「4.4.5 Component Status」(P.45)
Sys	stem Event Log	ベースボード上に格納されているシステムイベントログを表示します。 →「4.5 System Event Log」(P.46)
	SEL Content	イベントログを表示/クリアを行います。
	SEL Configuration	イベントログに関する設定を行います([V1.66A]以降)。
Ser	ver Management	サーバ管理情報を表示します。また、サーバの起動や再起動の設定を行い ます。 →「4.6 Server Management Information」(P.49)
Net	twork Settings	リモートマネージメントコントローラのネットワークに関する設定を行い ます。
	Ethernet	リモートマネージメントコントローラの IP アドレス、サブネットマスクな どを設定します。 →「4.7.1 Network Interface」(P.51)
	Ports	ポート番号を設定します。 →「4.7.2 Ports and Network Services」(P.52)
	DHCP	DHCP の設定を行います。 →「4.7.3 DHCP Configuration」(P.54)
	DNS	DNSの設定を行います。 →「4.7.4 DNS Configuration」(P.55)
Ale	erting	SNMP トラップや E-mail の送信設定を行います。
	SNMP Traps	SNMP トラップの送信設定を行います。 →「4.8.1 SNMP Trap Alerting」(P.56)
	Serial/Modem	シリアルポート/モデムの設定を行います。未サポートです。
	Email	送信する E-mail の設定を行います。 →「4.8.2 Email Alerting」(P.57)

表:Web インターフェースのメニュー

	メニュー	説明
Us	er Management	リモートマネージメントコントローラで使用するユーザの情報を設定します。 ・ 「1014 Manual (NG2)
		\rightarrow [4.9 User Management] (P.59)
	iRMC S2 User	リモートマネージメントコントローラにログインするユーザ情報を設定し ます。
	LDAP Configuration	ディレクトリサービスを利用する場合の設定を行います([V1.66A] 以 降)。
Co	nsole Redirection	コンソールリダイレクションに関する設定、起動を行います。
	BIOS Text Console	RemoteControlService でコンソールリダイレクションを行う場合の設定を行います。
	Video Redirection	Video Redirection を起動します。リモートでコンソールのリダイレクションを行う場合の設定を行います。また、リモートストレージの設定を行います。 →「4.10 Console Redirection」(P.66)
Re	mote Storage	リモートストレージ接続状態表示、および外部起動 DISK の設定を行いま す。 →「4.11 Remote Storage」(P.78)
iRl	MC SSH Access	iRMC への SSH アクセス画面を起動します。 →「4.12 iRMC SSH Access」(P.80)
iRMC Telnet Access		iRMC への Telnet アクセス画面を起動します。 →「4.13 iRMC Telnet Access」(P.82)
Lo	gout	リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのセッション からログアウトします。 →「4.14 Session Logout」(P.83)
Re	fresh	リモートマネージメントコントローラ の Web インターフェース画面の再 読み込みを行います。

表:Web インターフェースのメニュー

POINT

▶ Web インターフェース画面の再読み込みを行いたい場合は、リモートマネージメントコントローラの Web インターフェースのメニューから「Refresh」を選択します。

3.2 Web インターフェースの終了

リモートマネージメントコントローラのWebインターフェースの終了方法について説明します。

リモートマネージメントコントローラのWebインターフェースを終了する場合は、メ ニューの「Logout」からログアウトしてください。また、ログアウトせずにWebブラウザを 終了させると、自動的にログアウトされます。

FUĴÎTSU	and the second sec	RemoteView
We make sure		
PRIMERGY	RemoteView@iRMC S2 Web Server	
PRIMEROY IRMC 92 IRMC 92 System Information B Fower Management B System Event Log Server Management B Method Settings B Jetrer Management Console Redirection IRMC 92 SH Access IRMC 92 Teinet Access Logout Refresh	RendeView@IRICS2 Web Server Session Logout Logout Logout	
0 2000-2007 Fujitsu Siemens	Computers All rights reserved.	

第4章

情報の参照と設定

この章では、リモートマネージメントコント ローラの Web インターフェースの各画面の意 味と設定について説明します。

4.1	System Information	24
4.2	iRMC S2	26
4.3	Power Management	32
4.4	Sensors	38
4.5	System Event Log	46
4.6	Server Management Information	49
4.7	Network Settings	51
4.8	Alerting	56
4.9	User Management	59
4.10	Console Redirection	66
4.11	Remote Storage	78
4.12	iRMC SSH Access	80
4.13	iRMC Telnet Access	82
4.14	Session Logout	83

4.1 System Information

リモートマネージメントコントローラが動作しているシステムのシステム情報を表示させる場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースの メニューから「System Information」を選択します。

FUĴÎTSU						Rem	oteView
We make sure							
PRIMERGY	RemoteView®iRMC S2	Web Server					
RX200S4W2K3_64	System Inf	ormation					-
System Information ■ IRMC S2	System Status		_	-	_	-	
Power Management							
 Sensors System Event Log 	Error LED CSS LED	off					
Server Management	Identify LED	off Toggle O	n/Off				
 Network Settings Alerting 							
🗄 User Management							
Console Redirection	System Board Into	rmation					
Remote Storage	System Type	PRIMERGY RX20	0 \$4				
IRMC S2 SSH Access	Chassis Type Serial	RX200S4R YK8Gxxxxxxx					_
	Bios Version	4.05 Rev. 0.99A.2	2671				
Logout	System GUID	00000000-0000-0	0000-0000-000AE41538BE				
Refresh							
	Operating System	Information					
	System Name System O/S System IP System Location System Contact	RX20054W2K3_ Windows Server 2 10.21.136.202	34 003 R2 Enterprise Edition (>	64 Edition)			
	System ERIT (IDP	POM Information					
	oystellar No / Dr	Com imprimation					
	FRU Name	Manufacturer	Product Name or Model	Serial Number	Part Number	CSS Component	
e 2000 2007 Fuller Olamon	Chassis	FSC	PRIMERGY RX200 S4	YKR Gx00000	\$26361-K1167-Moox	No	

表:System Information に表示される項目の説明

	項目	説明
Sy	/stem Status	システム LED の状態を表示します。
	Error LED	サーバ前面の Error LED の点灯 (On) /消灯 (Off) が表示されます。
	CSS LED	サーバでユーザが交換可能な Memory / CPU の異常(予兆)がある場合に点灯します([iRMC S2]のみ)。
	Identify LED	サーバのシステム識別灯の点灯 (On) /消灯 (Off) が表示されます。 情報名の右側に表示されている [Toggle] をクリックすることによっ て、点灯 (On) /消灯 (Off) を切り替えることができます。
Sy	stem Board Information	ベースボードの情報が表示されます。
	System Type	サーバのシステムタイプが表示されます。
	Chassis Type	サーバのシャーシタイプが表示されます。
	Serial	ベースボードのシリアル番号が表示されます。
	Bios Version	BIOS のバージョンが表示されます。
	System GUID	ベースボード ID が表示されます。

項目	説明
Operating System Information	OS の情報が表示されます。
System Name	OS で設定されたサーバ名が表示されます。
System O/S	OS の種類が表示されます。
System IP	OS に設定された IP アドレスが表示されます。
System Location	OSの SNMPService に設定されたシステムの場所が表示されます。
System Contact	OSの SNMPService に設定された管理者名が表示されます。
System FRU / IDPROM Information	ハードウェアの情報が表示されます([iRMC S2]のみ)。
FRU Name	ハードに設定されている部品名です。
Manufacturer	各部品の製造会社が表示されます。
Product Name or Model	製品名、またはモデル名が表示されます。
Serial Number	シリアル番号が表示されます。
Part Number	個体番号が表示されます。
CSS Component	ユーザが交換可能であるか否かが表示されます。
System CPU Information	CPUの情報が表示されます。
No	CPUの通し番号が表示されます。
Designation	CPUのセンサ名が表示されます。
Status	CPUの有無が表示されます。
Signal Status	CPUの状態が表示されます。
CPU Id	CPUの ID が表示されます。
Platform Id	CPU のプラットフォーム ID が表示されます。
Brand Id	CPU のブランド ID が表示されます。
Max Speed	CPU の動作周波数が表示されます。
Max FSB Speed	CPU のベースクロック周波数が表示されます。
CSS Component	ユーザが交換可能であるか否かが表示されます([iRMC S2]のみ)。
System Memory Information	サーバ搭載メモリ情報が表示されます([iRMC S2]のみ)。
No	メモリカードの通し番号が表示されます。
Designation	メモリのセンサ名が表示されます。
Status	メモリスロットの搭載有無が表示されます。
Config Status	メモリの構成情報が表示されます。
Component Status	メモリの状態が表示されます。
Module Size [MB]	メモリのサイズが [MB] 単位で表示されます。
Module Frequency	メモリの動作周波数が [MHz] 単位で表示されます。
Memory Approved	メモリの認証状況を表示します (N/A、NO でも問題ありません)。
CSS Component	ユーザが交換可能であるか否かが表示されます。

表	: System	Information	に表示さ	れる項	目の説明
---	----------	-------------	------	-----	------

POINT

▶ リモートマネージメントコントローラでは日本語のサポート機能がありませんので、System Location および System Contact に日本語を使用している場合、文字化けして表示されます。

4.2 iRMC S2

リモートマネージメントコントローラに関する情報の表示/設定を行います。

4.2.1 iRMC S2 Information

リモートマネージメントコントローラの情報表示、設定を行う場合は、リモートマネージメ ントコントローラ Web インターフェースのメニューから「iRMC S2 Information」を選択しま す。

FUĴÎTSU	and and a	¥ 4							RemoteView	
We make sure	PomotoViou@iPMC 9	2 Web Co	D/07							
IRMC S2	iRMC S2	Inform	nation							
■ iRMC S2	Firmware Informa	ation and	iRMC S2 r	eboot						
- IRMC S2 Information	Running Firmware									
Save Configuration Certificate Upload Generate Certificate Sensors System Event Log Server Management Server Management Network Settings	IPMI Version Firmware Vers Firmware Date Firmware Selev Firmware runni Hardware Vers SDRR Version	2.0 Jul : 2.87 Jul : 2.0 ng FW ion 2.0 3.07	7A 3 2007 - 15: to - FW Imag Image 2 Chip ID: B2 (7 ID 0220 TX	57:57 je with hig 36 16 C2 4 20054	hest FW ve IC 13 40	ision	×			
Alerting	FW Image Informa	tion							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
■ User Management ■ Console Redirection ■ Remote Storage	FW Image No.	Boot Ver.	Firmware Ver.	SDRR Ver.	SDRR ID	Check sum	Statu	s		
IRMC S2 SSH Access	1	2.86	2.86A	3.06	0220	OK	inacti	ve		
INMU 52 Teinet Access	2	0.00	2.87A	3.07	0220	OK	runni	ng		
Logout	Apply	Rebo	ot iRMC S2							
P.41451										
	Active Session In	formation	1							
	IP Address	User Name	User Id	Session Type	Sessio Privileg	n Ses ge Sh	sion Iell	Remote Port		
	10.21.138.245	admin	2	HTTP	OEM	Web	GUI	0		
	10.18.95.155	admin	2	HTTP	OEM	Web	GUI	0		
e 2000 2007 5	10.18.95.155	admin	2	nilP	UEM	Viet	1001	1004		•

表: iRMC S2 Information に表示される項目の説明

項目	説明
Firmware Information and iRMC S2 reboot	iRMC S2 のファームウェア情報が表示されます。
IPMI Version	iRMC がサポートしている、IPMI のバージョンが表示されます。
Firmware Version	iRMC のバージョンが表示されます。
Firmware Date	iRMC ファームウェアの作成日が表示されます。
Firmware Selector	ファームウェアの位置(ROM内)が表示されます(変更禁止です)。
Firmware running	動作中のファームウェア番号(ROM内番号)が表示されます。
Hardware Version	サーバのハードウェアのバージョンが表示されます。
SDRR Version	センサ、しきい値を定義した情報のバージョンが表示されます。
FW Image Information	ファームウェア格納 ROM 内の情報です。
[Apply]	設定の適用ボタンです。使用しません。
[Reboot iRMC S2]	iRMC のリブートを行います([iRMC S2] のみ)。

	項目	説明
А	ctive Session Information	iRMC に接続しているマシンの情報です([V1.66A] 以降)。
	IP Address	接続している(していた)マシンの IP アドレスが表示されます。
	User Name	iRMC へのログイン ID が表示されます。
	User ID	ログイン ID のユーザ番号です。→「4.9 User Management」(P.59)
	Session Type	接続プロトコルが表示されます。
	Session Privilege	アクセス権限が表示されます。
	Session Shell	アクセス形態が表示されます。
	Remote Port	接続マシンの使用ポートが表示されます。

表:	iRMC S2	2 Information	に表示され	る項目の説明
----	---------	---------------	-------	--------

4.2.2 リモートマネージメントコントローラのライセンスキー設定

リモートマネージメントコントローラのライセンスキー設定を行います。

FUĴÎTSU	are.	¥							RemoteView	
We make sure										
PRIMERGY	RemoteView@iRMC	S2 Web Se	rver							
IRMC S2	Firmware Sele Firmware runn Hardware Vers SDRR Version	ing FW sion 2.0 3.07	to - FW Ima Image 2 Chip ID: B2 7 ID 0220 T.	ge with hig 06 16 C2 4 X200S4	hest FW ver IC 13 40	sion	•			-
Save Configuration Certificate Upload Oenerate Certificate Owwer Management Sensors System Event Log	FW Image Informa FW Image No. 1 2	Boot Ver. 2.96 0.00	Firmware Ver. 2.86A 2.87A	SDRR Ver. 3.06 3.07	SDRR ID 0220 0220	Cheok sum OK OK	Statu: in.activ runnin	e 3		
Server Management Network Setting Jering User Management Console Redirection	Apply Active Session In	Rebo	ot iRMC S2							
IRMC S2 SSH Access IRMC S2 Telnet Access	IP Address	User Name	User Id	Session Type	Session Privileg	n Ses ge Sh	ision hell	Remote Port	1	
Logout	10.21.136.245 10.18.95.155	admin admin	2	HTTP	0EM 0EM	Web	6 GUI 6 GUI	2051 1665		
Refresh	L									1
	License Key Please enteryou Upload	ur license ko	ey into the a	area below!						

項目	説明
License Key	マネージメントコントローラのライセンスキーを操作します。
[Upload]	リモートマネージメントコントローラのライセンスを承認します。ライセンス が承認されると Video Redirection、Remote Storage 機能が使用可能になります。

表:リモートマネージメントコントローラのライセンスキー設定

POINT

ライセンスキー、およびライセンスの設定方法の詳細はリモートマネージメントコントローラアッ プグレードの取扱説明書を参照してください。ライセンスが承認されていない状態では Video Redirection、Remote Storage 機能が使用できません。

4.2.3 Save iRMC S2 Firmware Settings

リモートマネージメントコントローラの設定情報データをバックアップする場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Save Configuration」を選択します([V1.66A] 以降)。

FUĴÎTSU	RemoteView					
We make sure						
PRIMERGY	RemoteView@iRMC S2 Web Server					
iRMC S2	Save iRMC S2 Firmware Settings					
IRMC S2 Information Save Configuration Certificate Upload Oenerate Certificate Power Nanagement Sensors System Event Log Sensort	Serve IRNC 52 Firmware settings in ServerView® WinSCU 3ML format Include Network Settings Include Userse Information All other Firmware settings					
 Betwork Settings ■ Alerting ■ User Management 	Save ERMC 52 Firmware settings in binary (BMCCLONE exe) format					
H Console Redirection Remote Storage IRMC S2 SSH Access IRMC S2 Telnet Access IRMC S2 IR I	Mothenboard data					
Logout	Save Save All					
© 2000-2007 Fujitsu Siamens (Computers All rights reserved					

表:	Save iRM0	CS2 Firmware	e Settings	に表示され	ぃる項目の説明
----	-----------	--------------	------------	-------	---------

項目	説明
Save iRMC S2 Firmware settings in ServerView [®] WinSCU XML format	選択した項目を Windows 用 ServerViewAgent の SystemConfigurationUtility でインポート可能な XML 形式 でセーブします。
Save iRMC S2 Firmware settings in binary (BMCCLONE.exe) format	選択した項目を BMCCLONE.exe ツールでインポート可能 なバイナリ形式でセーブします。

4.2.4 Certificate Upload

リモートマネージメントコントローラの認証データをアップロードする場合は、リモートマ ネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Certificate Upload」を選 択します([V1.66A] 以降)。

FUĴÎTSU	RemoteView
We make sure	
PRIMERGY	RemoteView@iRMC 52 Web Server
RX200S4W2K3_64	Certificate Upload
System Information	Note: You may upload the contents of a basef4 (PEU) encoded X.500 certificate and the matching DSARSA private key into the IRMC S2. The maximum size for the PEM encoded operatives in y 500 bytes: The maximum size for the PEM encoded certificate is 5144 bytes.
Save Configuration Certificate Upload	Certificate Information and Restore
Generate Certificate	View Certificate View CA Certificate Default Certificate Default CA Certificate
 Fower management Sensors 	
System Event Log	CA Certificate upload from file
Server Management	Note: Visu meru where the explorate of the V 500 C 0 explicate from local file
 Network Settings Alerting 	After you have uploaded the CA certificate, all current https connections will be closed and the https server will be automatically restarted. This can take up to
🗄 User Management	30seconds and no iRMC S2 reset is required.
Console Redirection	CA Certificate File
-IRMC S2 SSH Access	
iRMC S2 Telnet Access	Upload
Logout	
	Certificate and private key upload from file
Refresh	Note: You may upload the contents of the X.509 certificate and the DSA/RSA private key from local file(s).
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Both files need to be uploaded at the same time. After you have uploaded the certificate and key, all current https connections will be closed and the https server will be adventional uncertained. This can take up to 200econd is required.
	automatically restarted in this carriance up to source and in the new 52 reset is required.
	Private Key File 参照.
	Certificate File
	Upload
	Computers All rights reserved

項目	説明
Certificate Information and Restore	
[View Certificate]	適用されている Web 証明書が表示されます。
[View CA Certificate]	適用されている認証局の証明書が表示されます([iRMC S2] のみ)。
[Default Certificate]	デフォルトの Web 証明書に戻します。
[Default CA Certificate]	デフォルトの認証局の証明書に戻します([iRMC S2]のみ)。
CA Certificate upload from file	認証局 (CA) 証明書を適用します ([iRMC S2] のみ)。
CA Certificate File	認証局 (CA) 証明書ファイルを指定します。[参照] をク リックすると、ファイルを選択できます。
[Upload]	認証局(CA)証明書を適用します。
Certificate and private key upload from file	公的認証機関や独自の認証機関で作成された Private Key ファ イル、および証明書ファイルを適用します。
Private Key File	Private Key ファイルを指定します。[参照] をクリックする と、ファイルを選択できます。
Certificate File	証明書ファイルを指定します。[参照] をクリックすると、 ファイルを選択できます。
[Upload]	Private Key、および証明書を適用します。適用には Private Key ファイル、証明書ファイルの両方が必要です。
Please paste your DSA/RSA certificate or DSA/RSA private key into the text area below!	「Private Key」、「証明書」をファイルではなく、データ形式で 適用します。テキストボックスに「Private Key」、「証明書」 を貼り付けてください。
[Upload]	テキストボックス内のデータを適用します。

表: Certificate Upload に表示される項目の説明

4.2.5 Generate a self signed RSA Certificate

リモートマネージメントコントローラで RSA 認証データを取得する場合は、リモートマネー ジメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Generate Certificate」を選択し ます([iRMC S2] のみ)。

FUĴÎTSU	1 22	RemoteView				
We make sure						
PRIMERGY	RemoteView@iRMC S2 Web Server					
iRMC S2	Generate a self signed RSA Certifi	cate				
IRMC S2	Certificate Information and Restore					
	View Certificate Default Certificate					
Generate Certificate Power Management	Certificate Creation					
Image: Sensors Image: System Event Log Image: Server Management	If you create a new RSA certificate and key, all current https connections will be closed and the https server will be automatically restarted. Depending on the keysize, this process can take up to 5 minutes and no RMC S2 reset is required.					
 Network Settings Alerting 	Common Name (CN) Organization Name					
User Management Console Redirection	(0) INNIC 52 Organizational Unit Name (0U)					
- IRMC S2 SSH Access	Country Name (C)					
IRMC S2 Telnet Access	State or Province Name (ST)					
Logout	Locality Name (L)					
Refresh						
	Valid from Jul 26 04:21:49 2007					
	Key Length (bits) 1024 •					
	Create					
© 2000-2007 Fujitsu Siemens I	Computers. All rights reserved.					

	項目	説明				
Ce	ertificate Information and Restore	証明書の情報とリストア				
	[View Certificate]	現在設定されている認証 RSA データが表示されます。				
	[Default Certificate]	認証 RSA データをデフォルト設定に戻します。				
Ce	ertificate Creation	証明書を作成します。認証機関が使用できない場合、iRMC 内で証 明書を作成します。				
	Common Name (CN)	iRMC のアクセス名を指定します(ドメイン込みで指定)。				
	Organization Name (O)	組織(会社)名を指定します。例:FUJITSU				
	Organizational Unit Name (OU)	所属名を指定します。例:Solution Center				
	Country Name (C)	国を指定します。日本は「JP」、アメリカは「US」など2字で指定 します。				
	State or Province Name (ST)	州(県)名を指定します。				
	Locality Name (L)	都市名を指定します。				
	Email Address	E-Mail アドレスを指定します。				
	Valid from	証明書の有効開始日です。指定できません。				
	Valid for [days]	証明書の有効期間(日)を指定します。デフォルトは730日(2年)です。				
	Key Length [bits]	暗号化のキー長(Bit 長)を指定します。デフォルトは 1024Bit で す。				
	[Create]	上記指定内容で証明書を作成します。作成には5分程度かかります。作成後は自動的に iRMC S2 へ適用されます。				

表: Generate a self signed RSA Certificate に表示される項目の説明

POINT

▶「Common Name (CN)」、「Valid for [days]」、「Key Length [bits]」の設定だけでも証明書を作成す ることができます。

[View Certificate] をクリックすると、現在設定されている認証 RSA データが以下のとおり表示されます。

FUĴITSU			RemoteView
We make sure			
PRIMERGY	Remote View@iRMC S2 Web Server		
IRMC S2	Generate a self sig	ned RSA Certificate	-
	Certificate Information and Restr	Iro	
iRMC S2 Information			
Save Configuration	Version	3	
- Certificate Upload	Senal Number Signalise Algorithm	4J shatte5bDCAEsecution	
🦾 Generate Certificate	Public Key	1024 bit RSA	
Power Management	Issued by		
It Sensors	Common Name (CN)	RemoteView(R) Root CA	
I System Event Log	City or Locality (L)	Pujisu siemens computeis Munich	
Server Management	Country (C)	DE	
It Network Settings	State or Province (ST)	Bayern	
H Alerting	Email Address (emailAddress)) RemoteView@fujitsu-siemens.com	
H User Management	From	Jun 25 09:20:02 2007 GMT	
Console Redirection	To	Jun 23 09:20:02 2012 GMT	
	Issued for	IDMG 02 402458 D04 001 014	
IRMC S2 SSH Access	Draapization (C)	RMC S2 1024bit RSA SSL Celt Fuiltsu Siemens Computers	
	Country (C)	DE	
Leaguet	State or Province (ST)	Bavaria	
Logodi	Email Address (emailAddress)) IRMC_S2_1024@fujitsu-slemens.com	
Refresh	View Certificate Default Certif	icate	
	Certificate Creation		
	If you create a new RSA certificate a this process can take up to 5 minutes	nd key, all current https connections will be closed and the https server will be and no IRMC S2 reset is required	automatically restarted. Depending on the keysize,
	Common Name (CN) Drazeization Name	MC0302EE.domain.com	
© 2000-2007 Fujitsu Siemens I	Computers All rights reserved.		

4.3 Power Management

サーバの電源に関する設定を行います。

4.3.1 Power On/Off

サーバの電源の ON/OFF、再起動などを行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Power On/Off」を選択します。

FUĴÎTSU	RemoteView	
We make sure		
PRIMERGY	RemoteView@iRMC \$2 Web Server	
RX200S4W2K3_64	Power On/Off	
IRMC S2	Power Status Summary	
Power Management Power On/Off Power Options Power Supply Info Power Consumption	Power Status: DN Power Dn Courter: 0 d sty() 17 hrs 25 minutes Last Power On Reason: Stotware or normand Last Power Off Reason: Software or normand	
Sensors		
Server Management	Boot Options	
⊞ Network Settings ⊞ Alerting ⊞ User Management	Error Halt Settings Continue x Boot Device Selector No Change x	
 Console Redirection Remote Storage 	Apply	
IRMC S2 SSH Access		
	Power Control	4
Logout	C Power On C Power Cycle	
Refresh	C Immediate Power Off C Graceful Power Off (Shutdown)	
	C Immediate Reset G Graceful Reset (Reboot)	
	C Pulse NMI	
	Apply	

表: Power On/Off に表示される項目の説明

	項目	説明
Ро	wer Status Summary	現在の電源状態が表示されます。
	Power Status	現在のサーバの電源状態が On/Off で表示されます。
	Power On Counter	サーバの電源状態が「On」になってから現在までの、総稼働時間が表示されます。
	Last Power On Reason	前回のサーバの電源投入要因が表示されます。
	Last Power Off Reason	前回のサーバの電源切断要因が表示されます。

項目	説明
Boot Options	サーバ起動時の設定を行います。
Error Halt Settings	 起動時にエラーが発生した場合のサーバの対応動作を設定します。設定値は以下のとおりです。リストから選択して[Apply]をクリックします。 Continue 起動時にエラーが発生しても、起動処理を続けます。 Halt on errors 起動時にエラーが発生すると、オペレータの介入があるまで起動を停止します。
Boot Device Selector	 起動するデバイスを選択します。設定値は以下のとおりです。リストから 選択して [Apply] をクリックします ([iRMC S2] のみ)。 No Change BIOS に設定されているデバイスを使用します。 PXE/iSCSI PXE/iSCSI 装置より起動します。 Hard-drive ハードディスク装置より起動します。 CDROM/DVD CD-ROM/DVD 装置より起動します。 Floppy フロッピーディスクより起動します。
Power Control	 サーバの電源制御を行います。各項目を選択して [Apply] をクリックする と以下の動作となります。 Power On サーバの電源が入ります。 Immediate Power Off システム情報などを保存せずに、ただちにサーバの電源が切断されます。 Immediate Reset システム情報などを保存せずに、ただちにサーバがリセットされます。 Power Cycle システム情報などを保存してから、サーバの電源が切断され、その直後 に電源が投入されます。 Graceful Power Off (Shutdown) システム情報などを保存してから、サーバの電源が切断されます。 Graceful Reset (Reboot) システム情報などを保存してから、サーバの電源が切断されます。 Pulse NMI NMI 信号を発行します。([V1.66A] 以降)

表	ż	Power	On/Off	に表示さ	れる	項目	の説明
---	---	-------	--------	------	----	----	-----

POINT

▶ 「Pulse NMI」は NMI がサポートされている装置でのみ動作します。

4.3.2 Power Options

AC 電源復帰時の動作設定、およびサーバの自動電源投入、自動電源切断のスケジュール設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Power Options」を選択します([V1.66A] 以降)。

FUĴĨTSU	A ATTAN BEN A	RemoteView				
We make sure						
	RemoteView@iRMC S2 Web Server					
PARKEROY RX20054W2K8_64 PSystem Information B (RAC 52 Power DADF Power DADF Power Supply Info Power S	Remote View® IRME 52 Web Server Power Options Power Restore Policy Aways power off Aways power on Restore to power loss Apply Power On/Off Time On Time Off Time Unite Unit					
	hh:mm hh:mm Everyday					
	Apply					
2000-2007 Fujitsu Siemens Computers All rights reserved.						

各項目を設定または変更後、[Apply]をクリックすることで、設定値が反映されます。

表: Power Options に表	示される項目の説明
---------------------	-----------

項目	説明
Power Restore Policy	 停電などによってサーバの電源断が起こった場合の、電源復旧時の動作を 設定します。 Always power off サーバは電源復旧の動作を行いません。 Always power on サーバは自動で電源復旧の動作を行います。 Restore to powered state prior to power loss サーバの電源断が起こる直前の状態に戻します。 サーバの電源断前の状態が「On」:自動で電源復旧の動作を行います。 サーバの電源断前の状態が「Off」:電源復旧の動作を行わず、電源断の 状態を維持します。
Power On/Off Time	サーバが自動で行う電源投入の時刻と電源切断の時刻を、1週間単位で設 定します。

4.3.3 Power Supply Information

サーバに接続されている Power Supply (電源装置)の情報を参照する場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Power Supply Info」を選択します ([iRMC S2]のみ)。

FUĴĨTSU	1000 - 10000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1								
We make sure									
	RemoteView®iR	MC S2 Web Ser	rver						
RX200S4W2K3_64									
System Information	Power Supply	''PS1'FRU/II	JPROM In	formation					
IRMC S2 ■ Power Management	FRU Name	Manufactu	rer	Product Na or Mode	me	Serial Number		Part Number	CSS Component
Power On/Off	PS1	DELTA		DPS-650JE	0	BHLD072800026	3 A3I	C40090155	No
Power Uptions Power Supply Info Power Consumption	Output Number	Standby Power	Nomin Voltag	al Mi ge V	nimum oltage	Maximum Voltage	Ripple and noise	Minimum Current	Maximum Current
Sensors	1	No	12.00	V 1	1.40 V	12.60 V	120 mV	0.00 A	54.00 A
System Event Log	2	Yes	5.00	V 4	.75 V	5.25 V	60 mV	0.10 A	3.00 A
Network Settings Alerting	Total Capacity	Peak Capacity	Peak Holdup	Inrush Current	Inrush Interval	Input Range 1	Input Range 2	Input Frequency	A/C Dropout Tolerance
Console Redirection	650 W	750 W	12 sec	40 A	5 ms	90 - 140 V	180 · 264 V	47 - 63 Hz	12 ms
Remote Storage	0 W	0 1//	O seo	0 A	0 ms	0 - 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
IRMC S2 SSH Access	0 W	0 1//	0 sec	0 A	0 ms	0 - 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
iRMC S2 Telnet Access	0 W	0 W 0	O sec	0 A	0 ms	0 - 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
1	0.00	0 W	O sec	0 A	0 ms	0 - 0 V	0 · 0 V	0 · 0 Hz	0 ms
Logoal	0.00	0 1//	0 sec	0 A	0 ms	0 · 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
Refresh	ow	0 W	O seo	0 A	0 ms	0 · 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
	0.00	0 1//	O sec	0 A	0 ms	0 · 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
	0.00	0 W	0 sec	0 A	0 ms	0 · 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
	0.00	0 1//	O seo	0 A	0 ms	0 · 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
	0.00	0 W	0 sec	0 A	0 ms	0 · 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
	0.00	0 W	O sec	0 A	0 ms	0 · 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
	0 W	0 1//	O sec	0 A	0 ms	0 · 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
	0.00	0 W	0 sec	0 A	0 ms	0 · 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms
	0 W	0 W	O seo	0 A 0	0 ms	0 · 0 V	0 · 0 V	0 - 0 Hz	0 ms

表: Power Supply Information に表示される項目の説明

	項目	説明
Po ID	wer Supply 'PSx' FRU / PROM Information	電源装置 'PSx' に関する情報が表示されます。
	FRU Name	サーバに定義されている電源装置名が表示されます。
	Manufacturer	製造会社が表示されます。
	Product Name or Model	個体名またはモデル名が表示されます。
	Serial Number	シリアル番号が表示されます。
	Part Number	部品番号が表示されます。
	CSS Component	ユーザ交換の可/不可が表示されます。
	Output Number	出力ケーブル番号が表示されます。
	Standby Power	待機電力の有/無が表示されます。
	Nominal Voltage	定格出力電圧が表示されます。
	Minimum Voltage	最小出力電圧が表示されます。
	Maximum Voltage	最大出力電圧が表示されます。
	Ripple and noise	出力値の誤差が表示されます。
	Minimum Current	最小出力電流が表示されます。
	Maximum Current	最大出力電流が表示されます。
	Total Capacity	出力許容電力が表示されます。
	Peak Capacity	最高出力電力が表示されます。
	Peak Holdup	最高出力の継続可能時間が表示されます。
	Inrush Current	出力電流が表示されます。
	Inrush Interval	出力電流のインターバルが表示されます。
	Input Range 1	入力電力の範囲1が表示されます。
	Input Range 2	入力電力の範囲2が表示されます。
	Input Frequency	入力電力の周波数が表示されます。
	A/C Dropout Tolerance	瞬断に対する耐性が表示されます。

4.3.4 Power Consumption

サーバの消費電力に関する設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Power Consumption」を選択します([iRMC S2]のみ)。

FUĴÎTSU	The second				RemoteView	
We make sure						
PRIMERGY	RemoteView@iRMC S2 Web	server				
RX200S4W2K3_64	Power Consu	motion				-
	Power Consumption					
Power Management	- Wei consumption options					
Power On/Off	Power Control Mode Automatic					
Power Options	Enable Power Monitoring 🔽					
Power Consumption	Apply					
🗄 Sensors						
System Event Log	Pakadulad Dawar Con	ourantion Configuration				
Network Settings	Scheduled Power consumption conliguration					
Alerting		Time 1 Mode 1	Time 2	Mode 2		
🗷 User Management	Sunday	Power Mgmt. Disabled	•	Power Mgmt. Disabled	•	
E Console Redirection	Monday	Power Mgmt. Disabled	•	Power Mgmt. Disabled	•	
IRMC S2 SSH Access	Tuesday	Power Mgmt. Disabled	•	Power Mgmt. Disabled	T	
IRMC S2 Telnet Access	Wednesday	Power Mgmt. Disabled		Power Mgmt. Disabled		_
Logout	Thursday	Power Mgmt. Disabled		Power Mgmt. Disabled	•	
Refresh	Friday	Power Mgmt. Disabled	•	Power Mgmt. Disabled	•	
	Saturday	Power Mgmt. Disabled	•	Power Mgmt. Disabled		
	-	hh:mm Mode 1	hh:mm	Mode 2	_	
	Everyday				•	
	Apply					
	Timeline					-
© 2000-2007 Fujitsu Siemens						

各項目を設定または変更後、[Apply]をクリックすることで、設定値が反映されます。

項目	説明			
Power Consumption Options	サーバの消費電力に対する設定を行います。			
Power Control Mode	 サーバの消費電力に対する動作を設定します。 Power Mgmt. Disabled 消費電力に対する特別な動作は行いません。 Best Performance 消費電力にかかわらず性能が最大となる動作にします。 Minimum Power 消費電力を最も抑える動作にします。 Automatic 状況に応じ Best Performance と Minimum Power を自動で切り替えます。 Scheduled 曜日、時間単位で動作を切り替えるスケジュールを有効にします。 			
Enable Power Monitoring	消費電力をモニタリングします。			
Scheduled Power Consumption Configuration	「Power Control Mode」で「Scheduled」を選択した場合、この項目でのス ケジュール設定が有効になります。 設定方法については、「■ Scheduled Power Consumption Configuration 設 定」(→P.37)を参照してください。			
Timeline	「Enable Power Monitoring」をチェックした場合、消費電力のモニタリン グ結果がグラフで表示されます。 →「■ 消費電力の Timeline(モニタリング)表示」(P.37)			

表: Power Consumption に表示される項目の説明
■ Scheduled Power Consumption Configuration 設定

「Power Control Mode」で「Scheduled」を設定した場合、曜日ごと、もしくは各曜日2回までの消費電力に対する動作スケジュールが設定できます。

- 1 設定を行いたい曜日の「Time 1」、または「Time 2」に動作を開始する時刻を 入力します。
- 2 入力した時刻に開始される動作を「Mode 1」、または「Mode 2」で選択します。

選択できる動作は「Power Control Mode」(\rightarrow P.36)と同じです(Scheduled は除く)。

3 [Apply] をクリックします。

設定内容が適用され、設定した曜日の設定した時刻に、選択した動作が開始されます。

POINT

- ▶ 時刻は、hh:mm 形式(hh:00~23の2桁の時、mm:00~59の2桁の分)で入力します。
- ▶ Time1 と Time2 に同じ時刻を設定した場合、Time2 の動作となります。
- ▶ すべての曜日に同じ設定を行いたい場合、「Everyday」に設定するとすべての曜日に反映されます。
- ▶ 設定を無効にする場合は、入力してある設定時刻を消して、[Apply]をクリックしてください。

■ 消費電力の Timeline(モニタリング)表示

「Enable Power Monitoring」で消費電力のモニタリングが有効に設定されている場合、モニタ リング結果がグラフ表示されます。



4.4 Sensors

サーバに搭載されたファン、温度センサ、電圧および電源ユニットの状態を参照で きます。

4.4.1 Fans

サーバに搭載された各種ファン(CPUファン、システムファン)の状態表示と異常時の動作 設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニュー から「Fans」を選択します。

FUĴĨTSU										RemoteView					
We make sure															
PRIMERGY	Ren	Remote View@IRMC S2 Web Server													
IRMC S2		-													
→ System Information → IRMC 52 → Power Management → Sensors → Temperature → Voltages → Power Supply → Component Status ↔ System Event Log → Server Management → Newok Settings → Alexting → Alexting	F	Fans an Test Fan Check Start F nalog Far	Time 2 an Test	3:00	H	H:MM	Apply]	Shitdown	_					
		Select		No	Designation	Speed [RPM]	Revolutions [%]	Fail Reaction	Delay [sec]	Status					
Remote Storage			0	0	FAN1 SYS	1620	100	continue	90	FAN on, running					
IRMC S2 SSH Access IRMC S2 Telnet Access			0	1	FAN2 SYS	1620	100	continue	90	FAN on, running					
			0	2	FAN3 SYS	1560	100	continue	90	FAN on, running					
Logout			•	з	FAN4 SYS		N/A	continue	90	Not Present					
Refresh			0	4	FAN PSU	1500	98	continue	90	FAN on, running					
			•	5	FAN PSU1		N/A	continue	90	Not Present					
			0	6	FAN PSU2		N/A	continue	90	Not Present					
		Select /	AII		Deselect All										
	Compi	ders All rig	ghts res	erved.				_				•			

表: Fans に表示される項目の説明

項目	説明
Fan Test	ファンの動作状態を調査する定時刻を設定します。「Fan Check Time」に
	ファンの動作状態を調査する時刻を入力し、[Apply] をクリックしま
	す。時刻は、hh:mm 形式(hh: 00 ~ 23 の 2 桁の時、mm: 00 ~ 59 の 2
	桁の分)で入力します。[Start Fan Test] をクリックすると、ただちに現
	在のファンの動作状態を調査します。

	項目	説明						
Ar	alog Fans	現在のファンの状態が表示されます。また、ファンに異常が発生した場 合の、システムの動作を設定します。						
	Select	異常が発生した場合の対応動作を設定するファンを選択します。対応動作の設定方法は、「■ファンに異常が発生した場合の動作設定」(→ P.39)を参照してください。						
	No	ファンの通し番号が表示されます。						
	Designation	ファンのセンサ名が表示されます。						
	Speed	現在のファン回転数が、RPM 形式で表示されます。						
	Normal Revolutions	前回にファンの動作状態を調査したときの回転数を基準(100)にして、 現在のファンの回転数との割合が表示されます。単位は%です。						
	Fail Reaction	ファンに異常が発生した場合に、システムが行う対応動作の設定が表示 されます。対応動作の設定方法は、「■ファンに異常が発生した場合の 動作設定」(→P.39)を参照してください。						
	Shutdown Delay	ファンに異常が発生した時間から、システムが対応を開始するまでの待ち時間が、秒単位で表示されます。対応動作の設定方法は、「■ファン に異常が発生した場合の動作設定」(→P.39)を参照してください。						
	Status	現在のファンの状態(搭載/非搭載、稼動中/停止中)が表示されま す。						

表: Fans に表示される項目の説明

POINT

▶ ファンの電源が切断されているなどの理由により、ファンの情報が取得できない場合は、空欄になる項目もあります。

■ ファンに異常が発生した場合の動作設定

ファンに異常が発生した場合に、システムが対応する動作を設定します。

A	nalog Far									
		1	1	L	I	r	1	1		
	Select		No	Designation	Speed [RPM]	Normal Revolutions [%]	Fail Reaction	Shutdown Delay [sec]	Status	一口、対象シアシを送伏
		0	0	FAN1 SYS	1680	100	continue	90	FAN on, running	
		0	1	FAN2 SYS	1740	100	continue	90	FAN on, running	
		0	2	FAN3 SYS	1680	100	continue	90	FAN on, running	
		•	з	FAN4 SYS		N/A	continue	90	Not Present	
		0	4	FAN PSU	1500	98	continue	90	FAN on, running	
		۲	5	FAN PSU1		N/A	continue	90	Not Present	
		۲	6	FAN PSU2		N/A	continue	90	Not Present	2 対応動作を選択
_					4					
	Select	All	-	Deselect All						
0	ntinue		-	after selected far	n fails. Shu	tdown delay 300	seconds			――3. 待ち時間を入力
	Apply to the selected Fans									/ クリックト て設定
										マングランシンのに
										で反映

 「Select」欄から、設定対象のファンのチェックボックスをクリックして、 チェックをつけます。

POINT

- ▶ このとき、[Select All] をクリックすると、表示されているすべてのファンが選択できます。また、[Deselect All] をクリックすると、現在選択しているすべてのファンの選択を解除できます。
- 2 下段に表示されている動作設定リストから、「continue」または「shutdownand-power-off」を選択します。

表:	ファ	ン動作設定項目
----	----	---------

動作	説明
continue	ファンの異常を検知した場合も、システムはそのまま動作を続けま す。
shutdown-and-power-off	ファンの異常を検知した場合は、設定した待ち時間(この待ち時間 は、次の手順で設定します)が経過するまでは、システムはそのま ま動作を続けます。そのあと、待ち時間を経過しても異常から復旧 しない場合は、システムは自動でシャットダウンを行います。

- **3** システムがファン異常への対応を開始するまでの、待ち時間を入力します。 単位は「秒」です。0 ~ 300 までの数値を入力できます。
- **4** [Apply to the selected Fans] をクリックして、各設定値を反映させます。 画面上の各項目で、設定値が反映されたことを確認してください。
 - ・対応動作の設定→「Fail Reaction」欄
 - ・待ち時間の設定→「Shutdown Delay」欄

4.4.2 Temperature

サーバ内の各温度センサの状態表示と異常時の動作設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Temperature」を選択します。

FUĴĨTSU											RemoteView				
We make sure															
PRIMERGY	Ren	noteView®i	RMC S	2 Web	Berver										
IRMC S2		Tempe	erati	ıre											
System Information		Temperature Sensor Information													
Power Management	H	Temperature sensor information													
Sensors Fans		Select		No	Designation	Temperature	Warning Level	Critical Level	Fail Reaction	Status		l			
			0	0	Ambient	27	37	42	continue	ΟK		l			
Power Supply			0	1	Systemboard	29	60	65	continue	ок		l			
System Event Log			ø	2	CPU 1	32	85	90	continue	ОK		l			
Server Management				3	CPU 2		75	78	continue	N/A		l			
■ Network Settings ■ Alerting			ø	4	DIMM-1A	51	105	110	continue	ОK		l			
User Management Concole Redirection				5	DIMM-2A		105	110	continue	N/A		l			
-Remote Storage				6	DIMM-3A		105	110	continue	N/A		l			
IRMC S2 SSH Access IRMC S2 Telnet Access			0	7	DIMM-1B	50	105	110	continue	ок		l			
					8	DIMM-28		105	110	continue	N/A		l		
Logout				9	DIMM-3B		105	110	continue	N/A		l			
Refresh				10	BBU		45	55	continue	N/A		l			
		Select A ontinue Apply to	ul o the se	↓ ↓ lected :	Deselect All after reaching cri Sensors	ical temperature.									
												1			

表: Temperature に表示される項目の説明

項目	説明							
Temperature Sensor Information	現在の温度センサの状態が表示されます。また、温度異常が発生した場 合のシステムの動作を設定します。							
Select	温度異常が発生した場合、対応動作を設定する温度センサを、チェック ボックスにチェックをつけて選択します。対応動作の設定方法は、「■ 温度異常が発生した場合の動作設定」(→P.42)を参照してください。							
No	温度センサの通し番号が表示されます。							
Designation	温度センサ名が表示されます。							
Temperature	現在の温度値が表示されます。							
Warning Level	警告レベルの温度値が表示されます。							
Critical Level	異常レベルの温度値が表示されます。							
Fail Reaction	温度異常が発生した場合に、システムが行う対応動作の設定が表示され ます。対応動作の設定方法は、「■温度異常が発生した場合の動作設定」 (→ P.42)を参照してください。							
Status	現在の温度値から、異常な状態かどうかが判断されて表示されます。 ・OK:問題ありません ・N/A:未接続 ・Warning:警告 ・Critical:異常							

POINT

▶ 温度情報が取得できない場合は、空欄になる項目もあります。

■ 温度異常が発生した場合の動作設定

温度異常が発生した場合に、システムが対応する動作を設定します。

elect		No	Designation	Temperature	Warning Level	Critical Level	Fail Reaction	Status	選択
	0	0	Ambient	27	37	42	continue	ок	
	0	1	Systemboard	29	60	65	continue	ок	
	0	2	CPU 1	32	85	90	continue	ок	
		з	CPU 2		75	78	continue	N/A	
	0	4	DIMM-1A	51	105	110	continue	ок	
		5	DIMM-2A		105	110	continue	N/A	
		6	DIMM-3A		105	110	continue	N/A	
	0	7	DIMM-1B	50	105	110	continue	ок	
		8	DIMM-2B		105	110	continue	N/A	
		9	DIMM-3B		105	110	continue	N/A	
		10	BBU		45	55	continue	N/A	
Select A	All		Deselect All						
ue		•	after reaching crit	tical temperature.					
Apply t	o the se	lected \$	Sensors						

 「Select」欄から、設定対象の温度センサのチェックボックスをクリックして、 チェックをつけます。

POINT

- ▶ このとき、[Select All] をクリックすると、表示されているすべての温度センサが選択できます。また、[Deselect All] をクリックすると、現在選択しているすべての温度センサの選択を解除できます。
- **2** 下段に表示されている動作設定リストから、「continue」または「shutdownand-power-off」を選択します。

動作	説明
continue	温度異常を検知した場合も、システムはそのまま動作を続けます。
shutdown-and-power-off	温度異常を検知した場合は、システムが自動でシャットダウンを行 います。

表:温度センサ動作設定項目

3 [Apply to the selected Sensors] をクリックして、設定値を反映させます。 「Fail Reaction」欄で、設定値が反映されたことを確認してください。

POINT

▶ 温度異常時における、対応動作までの待ち時間の設定はありません。異常を検知した場合、ただちに対応動作を行います。

4.4.3 Voltages and Current

サーバ内の各電圧値を表示させる場合は、リモートマネージメントコントローラ Web イン ターフェースのメニューから「Voltages」を選択します。

FUĴÎTSU									RemoteView
We make sure PRIMERGY	Remote	View®iR	MC S2 Web Server						
IRMC S2	V	oltage	es and Curr	ent					
⊡ System Information	Voita	ige Sen	sor Information	one		_			
E Sensors		No	Designation	Current	Minimum	Maximum	Nominal	Status	
- Fans Temperature		0	Main +12V	12.00	11.06	13.01	12.00	ок	
Voltages		9 1	Main -12V	-12.38	-13.77	-10.53	-11.99	OK	
Power Supply		2 2	Main +5∨	5.07	4.00	5.41	5.00	OK	
Component Status System Event Log		3 3	Main 3.3V	3.35	3.06	3.68	3.30	OK	
Server Management		9 4	Battery +3V	3.13	2.01	3.50	3.00	OK	
t Network Settings		3 5	AUX 1.8V	1.80	1.71	1.89	1.80	OK	
E Alerting		6	Stdby +3.3V	3.33	3.09	3.58	3.30	OK	
E Console Redirection		97	VTT	1.19	1.11	1.29	1.20	OK	
Remote Storage		3 8	Core +1.5V	1.52	1.39	1.58	1.50	OK	
IRMC S2 SSH Access		9 9	AUX 1.25V	1.18	1.17	1.33	1.25	OK	
IRING 52 Telliet Addess		3 10	VTT_BMC	0.90	0.80	1.00	0.90	ОK	
Logout		3 11	Memory +1.8V	1.94	1.65	1.95	1.80	OK	
Refresh									
	Curr	ont Con	or Information						
	Cun	encoens	son mormation						
		No	Designation	Current	Minimum	Maximum	Nominal	Status	
		o	VRD1	10.78	0.98	248.92	95.06	ок	
		1	VRD2					N/A	

表: Voltages に表示される項目の説明

	項目	説明							
Vo	ltage Sensor Information	電圧センサに関する情報です。							
	No	電圧センサの通し番号が表示されます。							
	Designation	電圧センサ名が表示されます。							
	Current	現在の電圧値が表示されます。							
	Minimum	許容最小電圧値が表示されます。							
	Maximum	許容最大電圧値が表示されます。							
	Nominal	規定された電圧値が表示されます。							
	Status	現在の電圧値から、異常な状態かどうかが判断されて表示されます。 ・OK:問題ありません ・N/A:未接続またはデジタルセンサ(ON/OFFのみ) ・Upper-Warning:上限警告 ・Lower-Warning:下限警告							

項目	説明
Current Sensor Information	電流センサに関する情報です。
No	電流センサの通し番号が表示されます。
Designation	電流センサ名が表示されます。
Current	現在の電流値が表示されます。
Minimum	許容最小電流値が表示されます。
Maximum	許容最大電流値が表示されます。
Nominal	規定された電流値が表示されます。
Status	現在の電流値から、異常な状態かどうかが判断されて表示されます。 ・OK:問題ありません ・N/A:未接続またはデジタルセンサ(ON/OFFのみ) ・Upper-Warning:上限警告 ・Lower-Warning:下限警告

表: Voltages に表示される項目の説明

POINT

- ▶ 「Voltages」では、異常時におけるシステムの対応動作の設定はありません。
- ▶ 「Current Sensor Information」は、ハードウェアでサポートされていない機種では表示されません。

4.4.4 Power Supply

サーバに搭載されている電源ユニット (PSU)の状態を表示させる場合は、リモートマネー ジメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Power Supply」を選択します。

FUĴITSU				
We make sure				
PRIMERGY	RemoteViev	v© iRN	1C S2 Web Serve	8
IRMC S2	Pow	er S	Supply	
System Information	Power S	upply	Sensor Inform:	ation
Sensors		No	Designation	Status
- Fans	0	0	PSU	Not Present
- Voltages	0	1	PSU1	Redundant power supply - OK
Power Supply	•	2	PSU2	Not Present
 Component Status System Event Log 				
Server Management				
Network Settings				
🗄 User Management				
E Console Redirection				
IRMC S2 SSH Access				
IRMC S2 Telnet Access				
Logout				
Refresh				

表: Power Supply に表示される項目の説明

項目	説明
No	電源ユニットの通し番号が表示されます。
Designation	電源ユニット名が表示されます。
Status	電源ユニットの状態が表示されます。

POINT

▶ 電源ユニットが冗長構成の場合、冗長の状態を示すセンサも表示されます。

4.4.5 Component Status

サーバ内の各センサの状態を表示させる場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Component Status」を選択します。

FUĴÎTSU									RemoteView		
We make sure											
PRIMERGY	Reme	teViev	i® iRM	C S2 Web Serve	2F						
IRMC S2	0	com	pon	ent Statu	IS						-
System Information ■ IRMC S2	Co	mpor	ent St	atus Sensor Ir	nformation						
 Bensors Fans 			No	Designation	Entity Id	Entity Instance	LED available	Signal Status	CSS Component		
Temperature		0	0	CPU 1	Processor	0	N/A	OK	No		
Voltages		0	1	CPU 2	Processor	1	N/A	OK	No		
Component Status		0	2	FAN1 SYS	Fan/Cooling Device	0	N/A	OK	Yes		
📧 System Event Log		0	з	FAN2 SYS	Fan/Cooling Device	1	N/A	өк	Yes		
Server Management		0	4	FAN3 SYS	Fan/Cooling Device	2	N/A	өк	Yes		
Alerting			6	FAN4 SYS	Fan/Cooling Device	з	N/A	Not Present	Yes		
🗄 User Management		0	6	FAN PSU	Power Supply	2	N/A	өк	No		
Console Redirection			7	FAN PSU1	Power Supply	з	N/A	Not Present	No		
Remote Storage			8	FAN PSU2	Power Supply	4	N/A	Not Present	No		
IRMC S2 Telnet Access		0	9	Battery	Battery	0	N/A	өк	Yes		
		0	10	Voltages	System Board	0	N/A	өĸ	No		
Logout		0	11	Temp	External Environment	0	N/A	ОK	No		
Refresh			12	BBU Temp	Battery	1	N/A	Not Present	No		
			13	BBU	Battery	1	N/A	Not Present	Yes		
			14	PSU	Power Unit / Power Domain	0	N/A	Not Present	No		
		0	15	PSU1	Power Supply	0	N/A	ок	Yes		
			16	PSU2	Power Supply	1	N/A	Not Present	Yes		
		0	17	DIMM-1A	Memory Device	0	N/A	OK	Yes		
© 2000-2007 Fujitsu Siemens	Comput	ers Al	18	DIMM-2A	Memory Device	1	N/A	Empty slot	Yes		•



項目		説明			
Co	mponent Status Sensor Info	ormation			
	No	センサの通し番号が表示されます。			
	Designation	センサ名が表示されます。			
	Entity Id	センサの種類が表示されます。			
	Entity Instance	センサの種類別における、通し番号が表示されます。			
	LED available	センサ LED の点灯状況が表示されます。			
	Signal Status	センサの状態が表示されます。			
	CSS Component	ユーザが交換可能であるか否かが表示されます([iRMC S2] のみ)。			

4.5 System Event Log

サーバのシステムイベントログの表示、および表示設定を行います。

4.5.1 System Event Log Content

ベースボード上に格納されるイベントログ(SEL)を表示させる場合は、リモートマネージ メントコントローラ Web インターフェースのメニューから「SEL Content」を選択します。

FUĴÎTSU	E				RemoteView	
We make sure						
PRIMERGY	RemoteView@iRMC S2 Web S	ierver				
RX200S4W2K3_64						
System Information	System Event	Log Content				
IRMC S2	System Event Log Inform	ation				1
Power Management						
🖄 Sensors	Eventiog Info: 425 E Last Addition: 28-Au	ntries of 425 (Ring SEL) ig-2007 09:29:34				
SEL Content	Last Erase: 30-Ju	2007 15:45:56				
SEL Configuration	Charlen Com	Frankling				
Server Management	Clear Event Log Save	EvenicLog				
Network Settings						_
User Management	System Event Log Conte	nt				
🗄 Console Redirection	-	-		-		
Remote Storage	Display Untroal V	Display Major V	Display Minor V Display Into V C	SS only	мрріу	
IRMC S2 SSH Access						
IRMIC 52 Telhet Access	Event Date	Event Event Severity Source	Event Description	Alert CSS Group Event		
Logout	28-Aug-2007 09:29:34	Info IRMC S2	iRMC S2 Browser user 'admin' login	Security No		
Dutut	27-Aug-2007 18:20:12	Info iRMC S2	iRMC S2 Browser user 'admin' auto-logout	Security No		
Kellesh	27-Aug-2007 16:37:15	Info BIOS	'DIMM-1A': Non FSC memory module detected	Memory Yes		
	27-Aug-2007 16:37:15	Info BIOS	'DIMM-1B': Non FSC memory module detected	Memory Yes		
	27-Aug-2007 10:08:41	Info iRMC S2	iRMC S2 Browser user 'admin' login	Security No		
	27-Aug-2007 16:08:04	Info BIOS	'DIMM-1A': Non FSC memory module detected	Memory Yes		
	27-Aug-2007 18:08:04	Info BIOS	'DIMM-1B': Non FSC memory module detected	Memory Yes		
	27-Aug-2007 15:55:04	Info IRMC S2	iRMC S2 Browser user 'admin' auto-logout	Security No		
	27-Aug-2007 15:02:08	Info iRMC S2	iRMC S2 Browser user 'admin' login	Security No		
	27-Aug-2007 14:52:55	Info BIOS	'DIMM-1A': Non FSC memory module detected	Memory Yes		
	27-Aug-2007 14:52:55	Info BIOS	'DIMM-1B': Non FSC memory module detected	Memory Yes		-
	27-Aug-2007 14:48:04 Computers, All rights reserved	Into BIOS	'DIMM-1A': Non FSC memory module detected	Memory Yes		

表: System Event Log Content に表示される項目の説明

	項目	説明
System Event Log Information		イベントログに関する情報が表示されます
	Eventlog Info	現在のイベントログ数が表示されます。
	Last Addition	最後にログされた日時が表示されます。
	Last Erase	イベントログがクリアされた日時が表示されます。
	[Clear Event Log]	すべてのシステムイベントログがクリアされます。
	[Save Event Log]	システムイベントログを Text 形式で退避します([iRMC S2]のみ)。

項目	説明
System Event Log Content	イベントログ一覧です。各項目(チェックボックス)を選択し [Apply]
	をクリックすると、選択した内容が表示されます。
Display Critical	「Critical」レベルのイベントログを表示します([V1.66A] 以降)。
Display Major	「Major」レベルのイベントログを表示します([V1.66A] 以降)。
Display Minor	「Minor」レベルのイベントログを表示します([V1.66A] 以降)。
Display Info	「Information」レベルのイベントログを表示します([V1.66A] 以降)。
CSS only	「CSS」が有効なイベントログのみを表示します([iRMC S2]のみ)。
Event Date	イベントの発生日時が表示されます。
Event Severity	イベントの重要度が表示されます。重要度は低い順から、Info/Minor/
	Major / Critical の4段階があります。
Event Source	イベントの発生元が表示されます。
Event Description	発生したイベント内容が表示されます。
Alert Group	イベントの種別が表示されます([V1.66A]以降)。
CSS Event	ユーザが交換可能なモジュールで発生したイベントであるか否かが表示 されます([iRMC S2]のみ)。

表	÷	System	Event	Log	Content	に表示	され	る項目	の説明
---	---	--------	-------	-----	---------	-----	----	-----	-----

POINT

- ▶ システムイベントログの最大格納数は 256 ~ 512 個ほどで、サーバ(BIOS)により異なります。
- ▶ システムイベントログの格納方法(上書きなど)は、サーバ本体に添付の『ユーザーズガイド』を 参照してください。

4.5.2 System Event Log Configuration

「4.5.1 System Event Log Content」(→ P.46) で表示させるシステムイベントログのデフォルト 設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニュー から「SEL Configuration」を選択します([V1.66A] 以降)。

FUĴÎTSU	RemoteView
We make sure	
PRIMERGY	RemoteVievr@iRMC \$2 Web Server
IRMC S2	Custom Front Los Conferencias
System Information	System Event Log Configuration
IRMC S2	System Event Log Configuration
t Power Management ■ Sensors ■ System Event Log ↓	Display Critical 🗭 Display Major 🔽 Display Minor 🗭 Display Info 🗖 CSS only 🗖 Default Web interface display filtering
SEL Configuration	© Ring SEL O IPMI SEL
Network Settings	Apply
▲ Alerting ★ User Management	
E Console Redirection	
Remote Storage	
Logout	
Refresh	
	J
© 2000-2007 Fujitsu Siemens	Computers All rights reserved.

表:	System	Event Log	Configuration	に表示される項目の説明
----	--------	------------------	---------------	-------------

項目		説明
Sy	stem Event Log	イベントログ一覧です。各項目を選択し、[Apply] をクリックしてくだ
Co	nfiguration	さい。
	Display Critical	「Critical」レベルのイベントログ表示をデフォルトで設定します。
	Display Major	「Major」レベルのイベントログ表示をデフォルトで設定します。
	Display Minor	「Minor」レベルのイベントログ表示をデフォルトで設定します。
	Display Info	「Information」レベルのイベントログ表示をデフォルトで設定します。
	CSS only	「CSS」が有効なイベントログのみの表示をデフォルトで設定します
		$([iRMC S2] \mathcal{O}\mathcal{F})_{\circ}$
	Ring SEL	Ring SEL の格納件数形式での表示をデフォルトで設定します。
	IPMI SEL	IPMI SEL の格納件数形式での表示をデフォルトで設定します。

POINT

▶ SEL Configuration で設定した内容は iRMC へのログイン時に反映されます。

4.6 Server Management Information

サーバ管理情報の表示と設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Server Management」を選択します。

POINT

▶ サーバによっては、設定できる内容に制約がある場合があります。詳細はサーバ本体に添付の 『ユーザーズガイド』を参照してください。

FUĴÎTSU	RemoteView	
We make sure	Result Van & DMC 02 Web Carrier	
IRMC S2		
Suttem Information	Server Management Information 1	-
IRMC S2	ASR&R Options	
Power Management Sensors System Event Log	ASR&R Boot Delay (1 - 30) 2 minutes	
Server Management	Action with retry counter zero Power Off Retry counter (0 - 7) 3	
Henning User Management Console Redirection Pometo Storage	BIOS boot source for next boot BIOS recovery flash bit Disabled •	
- IRMC S2 SSH Access IRMC S2 Telnet Access	Power Cycle Delay (0 - 15) 7 seconds	
Logout	Apply	
Refresh		
	Watchdog Settings	
	Enabled	
	Software Watchdog: Continue 💌 after timeout delay (1 - 100): 5 minutes	
	Boot Watchdog: Reset 💌 after time out de lay (1 - 100): 0 minutes	
	Apply	
	Note: These settings will be active after the next server reboot.	•

表: Server Management Information に表示される項目の説明

項目	説明	
ASR&R Options	サーバの再起動に関する設定を行います。ここで設定する情報は、 サーバの BIOS セットアップユーティリティにも反映されます。	
ASR & R Boot Delay	ファン異常、または温度異常によるシャットダウンが行われた後、こ こで設定した時間(単位:分)が経過すると、サーバは自動で電源を 投入します。ただし、「Retry Counter」の設定値が0の場合は、「Action with retry counter zero」の設定に従った動作を行います。	
Action with retry counter zero	「Retry counter」が「0」の場合の動作を設定します。 ・ Power Off サーバは電源投入を行いません。電源断の状態を維持します。 ・ Start Diagnostic IDE Disk 診断システム HDD を起動します。未サポートです。 ・ Boot PXE PXE 装置から起動します。 ・ Boot iRMC Remote Image RemoteStorage (USB 指定) から起動します	

	項目	説明	
	Retry counter	異常が発生し、サーバがシャットダウンされた後の自動再起動回数 を、0~7の間で設定します。このカウンタ値は、ファン異常、温度 異常、OS Watchdog Timeout、Boot Watchdog Timeout で再起動が行われ るたびに、1ずつ減少します。カウンタ値が0になると、サーバは 「Action with retry counter zero」で設定した動作を行います。	
	BIOS boot source for next boot	 次回サーバ起動時の起動オプションを設定します。 Boot Option 通常の起動を行います。 Diagnostic System 診断システムメニューを起動します。未サポートです。 	
	BIOS recovery flash bit	 BIOS の自動書き換えを設定します。 Enabled 自動書き換えを有効にします。BIOS 自動書き換えエリアに書き換え対象の BIOS イメージが設定されている場合、自動的に BIOS の書き換えが行われます。未サポートです。 Disabled 自動書き換えを無効にします。 	
	Power Cycle Delay	Power Cycle 実行時に、Power Off から Power On を行うまでの時間を 0 ~ 15(単位は秒)で設定します。	
Wat	chdog Settings	指定した時間内に OS からの応答がない場合や、Boot が終了しなかっ た場合の動作を設定します。ここで設定する情報は、サーバの BIOS セットアップユーティリティにも反映されます。	
	Enabled	Software Watchdog / Boot Watchdog を有効にします。	
	Software Watchdog	 OSからの応答の有無監視をします。 Power Cycle タイムアウト時に、Power Off / On を行います。 Reset タイムアウト時に、サーバの再起動を行います。 Continue タイムアウト時に、何も行いません。 	
	Boot Watchdog	 Boot (BIOS 終了後から OS が起動されるまで)の時間を監視します。 Power Cycle タイムアウト時に、Power Off / On を行います。 Reset タイムアウト時に、サーバの再起動を行います。 Continue タイムアウト時に、何も行いません。 	
	タイムアウト時間指定	1~100まで指定できます(単位は分)。サーバ(BIOS)により、最 大設定時間や指定できる値が異なります。	

表:Serve	r Management	Information	に表示され	ぃる項目の説明

4.7 Network Settings

リモートマネージメントコントローラのネットワークに関する設定の参照、変更を 行います。

4.7.1 Network Interface

リモートマネージメントコントローラの IP アドレス、サブネットマスクなどの設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから 「Ethernet」を選択します。

FUĴÎTSU	A Standard	RemoteView
We make sure		
PRIMERGY	RemoteView@IRMC S2 Web Server	
IRMC S2		
	Network Interface	
IRMC S2	Ethernet	
Power Management	ID and invalian	
System Event Log	MáC áddress 00:19:99:03:02:FE	
-Server Management	LAN Speed Auto Negotiation +	
Network Settings	LAN Port Service LAN	
- Ethernet	IP Address 10 21 136 45	
- Ports	School March 255 255 0	
- DHCP		
Alerting	Gateway 10.21.136.1	
I User Management	DHCP enable	
E Console Redirection		
-Remote Storage	VLAN contiguration	
IRMC S2 SSH Access	VLAN enable	
IRMC S2 Telnet Access	VLAN Id 0	
Logout	VLAN Priority 0	
Referet		
Kenesi	Apply	
e 2000 2007 F:		

各設定値を入力後、[Apply]をクリックすることで、設定値が反映されます。 ここで設定する情報は、サーバの BIOS セットアップユーティリティにも反映されます。

項目		説明	
IP co	onfiguration		
	MAC Address	リモートマネージメントコントローラに搭載された、LAN の MAC ア	
		ドレスが表示されます。	
	LAN Speed	LAN 接続速度を設定します。	
		Auto Negotiation	
		接続速度を自動検出し、設定します。	
		 100MBits/s Full Duplex 	
		100M Bits/s 全二重で接続します。	
		 100MBits/s Half Duplex 	
		100MBits/s 半二重で接続します。	
 10MBits/s Full Duplex 		 10MBits/s Full Duplex 	
	10MBits/s 全二重で接続します。		
		10MBits/s Half Duplex	
		10MBits/s 半二重で接続します。	

表: Ethernet に表示される項目の説明

	項目	説明
	LAN Port	iRMC S2 が使用する LAN ポートを指定します([iRMC S2] のみ)。 ・ Service LAN iRMC S2 専用 LAN ポートを使用します。 ・ Shared LAN iRMC S2 とサーバの LAN ポートを共用します。
	IP Address	リモートマネージメントコントローラの IP アドレスを指定します。
	Subnet Mask	リモートマネージメントコントローラのサブネットマスクを指定しま す。
	Gateway	リモートマネージメントコントローラのゲートウェイアドレスを指定 します。
	DHCP enable	リモートマネージメントコントローラの Ethernet 設定に DHCP を使用 する場合に、チェックします。 設定を有効にすると、上記の設定値より DHCP が優先されるようにな ります。
VLAN configuration		
	VLAN enable	VLAN を使用する場合にチェックします。
	VLAN Id	VLAN の ID を設定します。
	VLAN Priority	VLAN のプライオリティを設定します。

表: Ethernet に表示される項目の説明



▶ VLAN の各項目に間違った値を設定すると、リモートマネージメントコントローラへの Web インター フェース、SSH、Telnet への接続ができなくなる場合があります。設定の際には、十分注意してく ださい。

4.7.2 Ports and Network Services

各アクセスのポート番号の設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「Ports」を選択します。

FUĴÎTSU	No. No.	RemoteView
We make sure	Remote View @ IRMC S2 Web Server	
IBMC 92		
IRMC S2 -System Information Information Information Information Second S	Ports and Network Services Ports and Network Services Web based access Force HTPS Bable Acc Betrash P Refersh every 120 Note The refersh here biss than the sesson timeout. Your sesson will not timeout. Your sesson will not timeout. Your sesson will not timeout. VUIC Pole Bandard Port (via HTTP) Secure Port (via HTTP) Secure Port (via HTTP)	onds
	Apply	
© 2000-2007 Fujitsu Siemens I	Computers All rights reserved.	

各設定値を入力後、[Apply]をクリックすることで、設定値が反映されます。空欄にすると、 その項目は無効になります。

項目	説明
Web based access	
Session timeout	Web インターフェース接続の自動切断時間(秒)を設定します。 デフォルトでは「300」に設定されています。
HTTP Port	HTTP ヘアクセスする際のポート番号を指定します。デフォルトでは 「80」に設定されています。
HTTPS Port	HTTPS ヘアクセスする際のポート番号を指定します。デフォルトでは 「443」に設定されています。
Force HTTPS	HTTPS 接続のみを有効にする場合、チェックします。デフォルトでは「無効」に設定されています。
Enable Auto Refresh	自動リフレッシュを行う場合、チェックします。デフォルトでは「有 効」に設定されています。
Refresh every	自動リフレッシュを行う場合の間隔(秒)を指定します。デフォルト では「120」に設定されています。
Text based access	
Telnet Port	Telnet ヘアクセスする際のポート番号を指定します。デフォルトでは 「3172」に設定されています。
Telnet Drop Time	Telnet 接続時の自動切断時間(秒)を指定します。デフォルトでは「600」に設定されています。
SSH Port	SSH 経由でアクセスを行う場合のポート番号を指定します。デフォル トでは「22」に設定されています。
Telnet enabled	Telnet 接続を有効にする場合、チェックします。デフォルトでは「有効」に設定されています。
VNC Ports	
Standard Port	 Video Redirection を行う場合のポート番号を表示します。 ・iRMC V1.66 以降 デフォルトは「5900」です(変更可)。 ・iRMC S2 デフォルトは「80」です(HTTPの設定ポートと連動)。 ・iRMC 上記以外 デフォルトは「5900」です(変更不可)。
Secure Port	 Video Redirection で SSH/SSL を使用する場合のポート番号を表示します。 ・ iRMC V1.66 以降 デフォルトは「5910」です(変更可)。 ・ iRMC S2 デフォルトは「443」です(HTTP の設定ポートと連動)。 ・ iRMC 上記以外 デフォルトは「5910」です(変更不可)。
Remote Storage Ports	
Standard Port	Video Redirection で Remote Storage を接続する場合のポート番号を表示 します。デフォルトは「5901」です。

表: Ports and Network Services に表示される項目の説明

POINT

▶「Session timeout」の設定時間より「Refresh every」の設定時間が短い場合、Web インターフェー ス接続の自動切断は行われません。

4.7.3 DHCP Configuration

DHCP に関する設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インター フェースのメニューから「DHCP」を選択します。

FUĴĨTSU	and	RemoteView
We make sure		
	RemoteView@iRMC S2 Web Server	
PRIMEROV IMMC 52 Finden Store Anagement Prever Management Console Redirection Remote Storage IMMC 52 Stellacess Logout Refresh Prever Management Prever Mana	Remote Verword IRMC 52 Web Server DHCP Configuration IHCP Configuration IF Register DHCP Address in DNS IF Use IRMC 52 Name IRMC 53	
© 2000-2007 Fujitsu Siemens	Computers All rights reserved.	

各設定値を入力後、[Apply]をクリックすることで、設定値が反映されます。

A. Driel Conngulation に A小 C れる 項目の 記明		
項目	説明	
Register DHCP Address in DNS	有効に設定すると、DNS へ DHCP 取得アドレスを登録します。	
Use iRMC S2 Name instead of Hostname	有効に設定すると、「iRMC S2 Name」ボックスに入力された文字を DNS 登録名として使用します。	
Add Serial Number	有効に設定すると、DNS 登録名にシリアル番号を付加します。	
Add Extension	有効に設定すると、「Extension」ボックスに入力された文字を DNS 登録 名の最後に付加します。	
DNS Name	DNSへの登録名が表示されます。	

表:DHCP Configuration に表示される項目の説明

4.7.4 DNS Configuration

DNS に関する設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インター フェースのメニューから「DNS」を選択します。

FUĴÎTSU	a starter and a starter at	RemoteView
We make sure		
PRIMERGY	RemoteView@iRMC S2 Web Server	
PRIMERCY IRMC 52 System Information Bin RAC 52 Power Management Bistory Management Power Management Network Settings Hote Statings Console Redirection Remets Storage ILogout Refresh	Remote Vieweb IRAMC 52 Web Server DNS Configuration DNS Settings DNS enabled DNS Server3 DNS Server3 DN	
€ 2000-2007 Fujitsu Siemens		

各設定値を入力後、[Apply]をクリックすることで、設定値が反映されます。

項目	説明
DNS enabled	有効に設定すると、名前の解決に DNS を使用します。
Obtain DNS configuration from DHCP	有効に設定すると、DHCPからDNSの設定を取得します。
DNS Domain	DNS ドメインを設定します。
DNS Server $1 \sim 5$	DNS サーバ1~5のIPを設定します。

4.8 Alerting

SNMP トラップおよび E-mail の送信設定を行います。また、SNMP トラップのテ スト送信が行えます。

POINT

▶ Serial/Modem Alerting は未サポートです。

4.8.1 SNMP Trap Alerting

SNMP トラップの送信設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web イン ターフェースのメニューから「SNMP Traps」を選択します。

FUĴÎTSU					RemoteView
We make sure					
PRIMERGY	RemoteView@iRMC S2 V	/eb Server			
IRMC S2		AL			
System Information	SINIVIP Trap	Alerting			
IRMC S2	SNMP Trap Destinat	ion			
Power Management					
 Sensors System Event Lon 	SNMP Community	public	Apply		
- Server Management					
Network Settings					
Alerting	Trap Destination	IP Address or DNS Name			
Serial/Modern	SNMP Server1	0.0.0.0	Apply	Test	
Email	SNMP Server2	0.0.0.0	Apply	Test	
User Management	SNMP Server3	0.0.0.0	Apply	Test	
Remote Storage	SNMP Server4	0000	Apply	Tect	
- IRMC S2 SSH Access		0.000			
iRMC S2 Telnet Access	SNMP Server5	0.0.0	Apply	lest	
Logout	SNMP Server6	0.0.0.0	Apply	Test	
, i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	SNMP Server7	0.0.0.0	Apply	Test	
Refresh					
	Apply All				

表:		SNMP	Trap	Alerting	に表示さ	れ	る項	目の	説明
----	--	------	------	----------	------	---	----	----	----

項目	説明
SNMP Trap Destination	各設定値を入力後、[Apply All] をクリックすることで、すべての設定値 が反映されます。
SNMP Community	SNMP トラップ送信時のコミュニティ名を設定します。デフォルトは 「public」に設定されています。コミュニティ名を入力後、[Apply] をク リックして決定します。受信サーバでトラップを受信するには、SNMP 受信のコミュニティ名が同じ名前になっている必要があります。
Trap Destination SNMP Server 1 ~ 7	SNMPトラップの送信先サーバ(Trap 受信サーバ)のIP アドレスを指定 します。送信先サーバは7カ所まで指定可能です。送信先サーバのIP ア ドレスを入力後、[Apply]をクリックし、設定を反映します。DNS を有 効に設定してある場合は、IP の代わりにサーバ名を設定することもでき ます。[Test]をクリックすると、設定したサーバに対し Test トラップを 送信します。

4.8.2 Email Alerting

E-mail の設定を行う場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースの メニューから「Email」を選択します。

FUĴÎTSU		RemoteView	
We make sure			
	RemoteView@iRMC S2 Web Server		
IRMC S2	Email Alerting		-
IRMC S2 ■ Power Management	Global Email Paging Configuration		
E Sensors	Email Alerting Enable		
 System Event Log Server Management 	SMTP Retries (0 - 7) 3		
Network Settings	SMTP Retry Delay (0 - 255) 30 Second(s)		
SNMP Traps	SMTP Response Timeout 46 Second(s)		
Serial/Modem	Apply		
🗷 User Management			
Console Redirection	Primary SMTP Server Configuration		
- IRMC S2 SSH Access	SMTP Server 0.0.0.0		
-iRMC S2 Telnet Access	SMTP Port 25		
Logout	Auth Type None 💌		
Refresh	Apply		
	Secondary SMTP Server Configuration		
	SMTP Server 0.0.0.0		
	SMTP Port 25		
	Auth Type None -		
	Apply		•
@ 2000-2007 Fujitsu Siemens			

各設定値を入力後、[Apply]をクリックすることで、設定値が反映されます。

表	1	Email	Alerting	に表示さ	れる項	[目の説明
---	---	-------	----------	------	-----	-------

	項目	説明
G C	lobal Email Paging onfiguration	SMTP サーバに対する設定を行います。
	Email Alerting Enable	SMTP サーバに対する設定の有効/無効を設定します。
	SMTP Retries	E-mail 送信エラーとなった場合の、リトライ回数を設定します。
	SMTP Retry Delay	リトライを行う間隔(秒)を設定します。
	SMTP Response Timeout	SMTP サーバからのレスポンス待ち時間(秒)を設定します。
Primary SMTP Server Configuration		プライマリ SMTP サーバの設定を行います。
	SMTP Server	プライマリ SMTP サーバの IP (DNS 有効であればサーバ名でも可)を 設定します。
	SMTP Port	プライマリ SMTP で使用するポート番号を設定します。
	Auth Type	 SMTP サーバのユーザ認証タイプを設定します。 NONE SMTP サーバはユーザ認証を行いません。 SMTP AUTH(RFC2554) SMTP サーバは RFC2554 に定義されたユーザ認証処理を行います。

項目	説明
Secondary SMTP Server Configuration	セカンダリ SMTP サーバの設定を行います。
SMTP Server	セカンダリ SMTP サーバの IP (DNS 有効であればサーバ名でも可)を 設定します。
SMTP Port	セカンダリ SMTP で使用するポート番号を設定します。
Auth Type	 SMTP サーバのユーザ認証タイプを設定します。 NONE SMTP サーバはユーザ認証を行いません。 SMTP AUTH(RFC2554) SMTP サーバは RFC2554 に定義されたユーザ認証処理を行います。
Mail Format dependend Configuration	E-mail の送信フォーマットを設定します。
From	送信元の名前を設定します。
Subject	E-mailの題名を設定します。ただし、設定が有効になるのは ITS フォーマット時のみです。
Message	E-mail 本文に付加するメッセージを設定します。ただし、設定が有効に なるのは ITS フォーマット時のみです。
Admin.Name	送信元の管理者名を設定します。ただし、設定が有効になるのは ITS フォーマット時のみです。
Admin.Phone	送信元の管理者電話番号を設定します。ただし、設定が有効になるのは ITS フォーマット時のみです。
REMCS Id	REMCS ID を設定します。ただし、設定が有効になるのは REMCS フォーマット時のみです。
Server URL	送信元の URL を設定します。

表: Email Alerting に表示される項目の説明

POINT

- ▶「Mail Format dependend Configuration」で設定できるのは、送信フォーマットのみです。送信先の 指定や送信レベルの設定は、「4.9 User Management」(→ P.59)で行います。
- ▶ Email 送信で指定するメールサーバのメールソフトの種類、または LAN 回線の速度などによりメール が不達エラーとなる場合があります。その場合、「Global Email Paging Configuration」の「SMTP Response Timeout」の値を 50 秒程度に変更してください。

4.9 User Management

リモートマネージメントコントローラやディレクトリサービスにログインする設定 を行います。

4.9.1 User Management

リモートマネージメントコントローラにログインするユーザ名/パスワードの設定や、ユー ザ名に対する動作レベル、E-mail送信に関する詳細設定を行う場合は、リモートマネージメ ントコントローラ Web インターフェースのメニューから「iRMC S2 User」を選択します。

FUĴÎTSU							RemoteView
We make sure							
PRIMERGY	RemoteView® iR	MC S2 Web Ser	ver				
IRMC S2							
	User M	anagem	ent				
irmc s2	IRMC S2 Use	er Information					
📧 Power Management							
🗄 Sensors	Enabled	ld Name	Description	LAN Privilege	Serial Privilege		
Server Management	M	2 <u>admin</u>	User 02 Description	OEM	OEM	Delete	
 Network Settings Alerting 	M	3 <u>test</u>	NewUser Description	User	User	Delete	
User Management	New User						
LDAP Configuration							
Console Redirection							
Remote Storage							
- IRMC S2 SSH Access							
IRMC S2 Telnet Access							
Logout							
Refresh							
@ 2000-2007 Eulitsu Siemens							

表: User Management に表示される項目の説明

項目	説明
Enabled	ユーザの有効/無効が表示されます。
Id	ユーザの通し番号が表示されます。
Name	ユーザ名が表示されます。
Description	ユーザの説明が表示されます。
LAN Privilege	LAN ポート経由のアクセス権限が表示されます。
Serial Privilege	シリアルポート経由のアクセス権限が表示されます。未サポートです。

[Delete] をクリックすると、登録されているユーザが削除されます。デフォルトで作成され るユーザ名/パスワード、および権限については、「2.1 準備」(→ P.14) を参照してくださ い。

<u> 修 重 要</u>

- ▶ 以下の場合、リモートマネージメントコントローラの Web インターフェースへのアクセスができなくなるか、使用できる機能が限定され、「User」の作成および変更ができなくなります。
 - ・すべてのユーザを削除した場合
 - ・Administrator/OEMのアクセス権限を持つユーザをすべて削除、または権限変更した場合

この場合、以下の手順で、サーバ本体に添付されている「Server Management Tools」を使用して復元してください。

- Server Management Tools」ディスクをフロッピーディスクドライブにセットしてサーバの電源を入れます。
- Server Management Tools (IPMI-Tool)を起動します。
 Server Management Tools の起動方法については、サーバに添付のドキュメント & ツール CD 内に格納の『ユーザーズガイド』を参照してください。
- 3. IPMI-Tool 画面が表示されたら、「User Management」を選択します。
- 1~16のいずれかを選択します。
 既存のUser IDの権限を変更する場合は、手順7へ進んでください。
- 5.「User Name」、「Password」および「Confirm Password」を入力します。
- [F1] キー(Set Value)を押して設定を保存し、[Esc] キーを押して User 設定画面に戻ります。
- 7.【F2】キー(Configure Access)を押して「2 802.3_LAN」を選択し、[Privilege Limit] で「5」 (OEM)を選択します。
- [F1] キー(Set Value)を押して設定を保存します。
 [Esc] キーを数回押して、IPMIviewを終了します。

■ ユーザ情報の変更

登録されているユーザ名をクリックすると、登録されている設定を変更できます。

A ATOMA CONTRACT	RemoteView
RemoteView@iRM0 S2 Web Server	
	<u> </u>
User "admin (2)" Configuration User Information User Enabled Ammin Password Confirm Password User Description User Shell Remote Manager Apply	
Privileges / Permissions IPMI LAN Privilege OEM IPMI Serial Privilege OEM Configure IRMIS Statings Image: Configure IRMIS Statings Configure IRMIS Statings Image: Configure IRMIS Statings Video Rediction enabled Image: Configure IRMIS Statings Remote Storage enabled Image: Configure IRMIS Statings	
	Rendev/ev/di RMD S2 Web Servet User "admin (2)" Configuration User Enabled User Enabled Image: Serverd User Description User Shell Remote Manager Apply Printleges / Permissions IPM LAN Privilege EEM Configure User Accounts Image: Serverd Configure User Accounts Image: Serverge Video Redirection enabled Image: Serverge Apply Image: Serverge

各項目を設定または変更後、[Apply]をクリックすることで、設定値が反映されます。

項目	説明
User Information	ユーザ情報を設定します。
User Enabled	ユーザの有効/無効を設定します。有効から変更できません。
Name	ユーザ ID を設定します。
Password	パスワードを設定します。
Confirm Password	パスワードを再入力します。
User Description	ユーザの説明を設定します。
User Shell	Telnet 接続時の動作レベルを設定します。Remote Manager 以外は未サポートです。
Privileges / Permissions	動作レベルを設定します。
IPMI LAN Privilege	 LAN 経由接続の動作レベルを設定します。 ・ USER ほとんどの項目において、参照のみが行えます。 ・ Operator USER 権限に加え、修正が行えます。 ・ Administrator Operator 権限に加え、ユーザの作成などが行えます。 ・ OEM Administrator 権限に加え、Telnet での特殊コマンドが有効になります。
IPMI Serial Privilege	シリアルポート経由の動作レベルを設定します。未サポートです。
Configure User Accounts	ユーザアカウントの変更権限を与えます([V1.66A] 以降)。
Configure iRMC S2 settings	iRMC の設定変更権限を与えます([V1.66A] 以降)。
Video Redirection enabled	Video Redirection の使用権限を与えます([V1.66A] 以降)。
Remote Storage enabled	Remote Storage の使用権限を与えます([V1.66A] 以降)。

表: User Configuration に表示される項目の説明

POINT

- ユーザアカウントの制限は以下のとおりです。
 - ・ユーザ ID 文字数
 - 16Byte ・パスワード 文字数
 - 15Byte

また、使用可能文字種は 7Bit ASCII コードの文字が使用可能ですが、その中で以下の記号は問題が 発生する可能性があるため使用しないようにしてください。

> < " / ¥ = ! ? ; , &

■ E-Mail 送信設定

ユーザごとの E-Mail 送信設定を行います。

FUĴÎTSU		RemoteView
We make sure		
PRIMERGY	RemoteView@iRMC S2 Web Server	
IRMC S2		
Sustem Information	Configure User Accounts 🔽	
IRMC S2	Configure IRMC S2 settings 🔽	
🗄 Power Management	Video Redirection enabled 🔽	
🗄 Sensors	Remote Storage enabled 🔽	
System Event Log		
Server Management	Apply	
1 Network Settings		
 User Management 	Email Configuration	
IRMC S2 User		
LDAP Configuration	Email Enabled	
Console Redirection	Mail Format Standard 💌	
Remote Storage	Prefered Mail Server Automatio	
INMU SZ SSH Access	Email Address Uset02@domain.com	
IKWIC 52 Telliet Addess		
Logout	Paging Severity Configuration	
	Fan Sensors WARNING T	
Refresh	Critical Hardware Errors All - Switzen Hand CRITICAL -	
	POST Errors ALL Y Security WARNING Y	
	Sustan Status NONE V Disk Drivers & Controllers CRITICAL V	
	Network Interface WARNING - Remote Management CRITICAL -	
	System Power WARNING - Memory CRITICAL -	
	Others NONE v	
	Apply Test	
	·	
© 2000-2007 Fuiltsu Siemens		

各項目を設定または変更後、[Apply]をクリックしてください。

項目	説明	
Email Enabled	設定の有効/無効を設定します。	
Mail Format	送信する E-mail のフォーマットを選択します。 ・ Standard 通常の E-mail フォーマットです。 ・ ITS-Format ITS 形式の E-mail フォーマットです。未サポートです。 ・ Fujitsu REMCS-Format REMCS 形式の E-mail フォーマットです。	
Prefered Mail Server	 「4.8.2 Email Alerting」(→ P.57) で設定した SMTP サーバから使用する SMTP サーバを選択します。 Automatic Primary、Secondary の順で使用可能な SMTP サーバが選択されます。 Primary Primary SMTP Server Configuration で設定した SMTP サーバを使用します。 Secondary Secondary SMTP Server Configuration で設定した SMTP サーバを使用します。 	
Email Address	送信先 E-mail アドレスを設定します。	
Paging Severity Configuration	 E-mail を送信する事象を選択します。事象ごとに設定します。 各事象での選択肢は次のとおりです。 NONE E-mail を送信しません。 CRITICAL 異常レベルの事象発生時に、E-mail を送信します。 WARNING 警告レベル以上の事象発生時に、E-mail を送信します。 ALL 事象が発生したすべてのレベルに対して、E-mail を送信します。 	
[Test]	E-mail のテスト送信を行います。	

表: Email Configuration に表示される項目の説明

■ ユーザ情報の新規作成

[New User] をクリックすると、ユーザを新規に作成できます。

FUĴITSU		RemoteView
We make sure		
PRIMERGY	RemoteView@iRMC S2 Web Server	
IRMC S2	New User Configuration	
E IRMC S2		
B Power Management Sensors Sensors System Event Log Server Management Network Settings User Management InMC S2 User InMC S2 User Configuration Configuration Remote Storage IRMC S2 SSH Access IRMC S2 SSH Access	User Enabled Name Password Confirm Password User Description User Shell PMI LAN Privilege User	
Logout	IPMI Serial Privilege User •	
Refresh	Configure User Accounts Configure IRMC 52 settings C Video Redirection enabled Remote Storage enabled	
	Apply	
© 2000-2007 Fujitsu Siemens	Computers All rights reserved.	

各項目を設定または変更後、[Apply]をクリックすることで、設定値が反映されます。

項目	説明	
User Enabled	ユーザの有効/無効を設定します。有効から変更できません。	
Name	ユーザ ID を設定します。	
Password	パスワードを設定します。	
Confirm Password	パスワードを再入力します。	
User Description	ユーザの説明を設定します。	
User Shell	Telnet 接続時の動作レベルを設定します。Remote Manager 以外は未サポートです。	
IPMI LAN Privilege	 LAN 経由接続の動作レベルを設定します。 ・USER ほとんどの項目において、参照のみが行えます。 ・ Operator USER 権限に加え、修正が行えます。 ・ Administrator Operator 権限に加え、ユーザの作成などが行えます。 ・ OEM Administrator 権限に加え、Telnet での特殊コマンドが有効になります。 	
IPMI Serial Privilege	シリアルポート経由の動作レベルを設定します。未サポートです。	
Configure User Accounts	ユーザアカウントの変更権限を与えます([V1.66A]以降)。	
Configure iRMC S2 settings	s iRMCの設定変更権限を与えます([V1.66A] 以降)。	
Video Redirection enabled	Video Redirection の使用権限を与えます([V1.66A] 以降)。	
Remote Storage enabled	Remote Storage の使用権限を与えます([V1.66A] 以降)。	

表: New User Configuration に表示される項目の説明

POINT

- ▶ ユーザアカウントの制限は以下のとおりです。
 - ・ユーザ ID 文字数: 16Byte
 ・パスワード 文字数: 15Byte
 また、使用可能文字種は 7Bit ASCII コードの文字が使用可能ですが、その中で以下の記号は問題が
 発生する可能性があるため使用しないようにしてください。
 > < " / ¥ = ! ? ; , &

修 重要

- ▶ RemoteControlService から iRMC Telnet 機能を使用する場合は、ログインユーザが以下の権限である 必要があります。
 - IPMI LAN Privilege : Administrator
 - User Shell : Remote Manager

4.9.2 Directory Service Configuration

リモートマネージメントコントローラで Directory Service を使用する設定を行う場合は、リ モートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「LDAP Configuration」を選択します([V1.66A] 以降)。

FUĴÎTSU		RemoteView
We make sure		
PRIMERGY	RemoteView@IRMC S2 Web Server	
IFAC 52 IFAC 5 IFAC 52 IFAC 5 IFAC 52 IFAC 5 IFAC 52 IFAC 52 IFAC 5	Directory Service Configuration Clobal Directory Service Configuration LDAP Enable LDAP Stable LDAP Stable Dirable Local Login 1 Avays use Stal Login 2 Directory Server Type LDAP Server 1 DAP Server 2 D0:0.0 Domain name Base ON DC-Commit Directom	
LiRMC S2 Teinet Access	Dept. name dspartment Apply Directory Service Access Configuration LDAP Auch UserName LDAP-VaceName LDAP Auch UserName Configuration Confirm Password Image: Configuration	
© 2000-2007 Fuiitsu Siemens I		

各項目を設定または変更後、[Apply]をクリックすることで、設定値が反映されます。

項目	説明	
Global Directory Service Configuration		
LDAP Enable	Directory Service アクセスを有効にします。	
LDAP SSL Enable	Directory Service へ SSL でのアクセスを有効にします。	
Disable Local Login	Directory Service 有効時、ローカル ID でのログインを無効にします。	
Always use SSL Login	Directory Service 有効時、iRMC へのアクセスを SSL 接続に制限します。	
Directory Server Type	Directory Service のタイプを設定します。 ・ Active Directory Directory Service のタイプを「Active Directory」とします。	
	 Novell Directory Service のタイプを「Novell」とします。 OpenLDAP Directory Service のタイプを「OpenLDAP」とします。 	
LDAP Server 1	Directory Service のサーバIP を設定します	
LDAD Server 2		
LDAP Server 2 Directory Service のサーバ IP を設定します。		
Domain name	Directory Service アクセスのドメイン名を指定します。	
Base DN	設定されているドメインが表示されます。	
Dept. name	Directory Service の部署名を設定します。	
Directory Service Access Configuration		
LDAP Auth UserName	Directory Service ヘアクセスするユーザ ID を設定します。	
LDAP Auth Password	Directory Service ヘアクセスするパスワードを設定します。	
Confirm Password	パスワードの再入力です。	

表: Directory Service Configuration に表示される項目の説明

4.10 Console Redirection

コンソール(出力画面)のリダイレクションに関する設定、表示(動作)を行いま す。

4.10.1 BIOS Text Console

RemoteControlService の Text 画面リダイレクション設定を行う場合は、リモートマネージメ ントコントローラ Web インターフェースのメニューから「BIOS Text Console」を選択しま す。

FUĴĨTSU	RemoteView	
We make sure		
PRIMERGY	Remote View@IRMC S2 Web Server	
iRMC S2	BIOS Text Console	
IRMC S2	BIOS Console Redirection Options	
Power Management Power Management Power Management System Event Log System Event Log Server Management Network Stitlings Alerting User Management Console Redirection FiloS Text Console Video Redirection Remote Storage IRMC S2 Teinet Access	Console Redirection Enabled : Console Redirection Node Enhanced Console Redirection Port COM1 Serial Port Baudrate 9000 Serial Port Baudrate 9000 Serial Port Riow Control CTSRTS (Handware) Terminal Emulation VT100+ Serial 1 Multiplexer System Apply	
Logoal	Text Console Redirection (via Serial Over LAN)	
Refresh	Text Console Redirection 2	
Ø 2000-2007 Fujitsu Siemens	Note (1): The Operating System can provide Test Console access independend from BIOS settings. Note (2): Test Console access via Senial over LAN (SOL) is working only if COM1 is used for Test Console (from BIOS and/or O/S). Computers: All rights reserved.	



▶ BIOS Text Console を使用する際の各設定値は、以下のとおりに設定してください。

項目	設定値
Console Redirection Enabled	チェックする
Console Redirection Mode	Enhanced
Console Redirection Port	Serial 1
Serial Port Baudrate	9600
Serial Port Flow Control	CTS/RTS (Hardware)
Terminal Emuration	VT100+
Serial 1 Multiplexer	System

表: BIOS Text Console の設定値

Text Console Redirection

リモートでテキストコンソールのリダイレクションを行う場合は、BIOS Text Console 画面で [Start Console Redirection]をクリックします。

FUĴITSU		RemoteView
We make sure		
	Remote View® IRMC S2 Web Server	
	BMC (FW:) IP Address 10.21.138.45 Logon Logoff	
	Power Management: Status <not available=""> Command</not>	
	Console Redirection: Enter Console Leave Cons	cie
© 2000-2007 Fujitsu Siemen:	s Computers All	

起動される画面、および操作方法については、『ServerView ユーザーズガイド (RCS 編)』を 参照してください。

POINT

▶ Text Console Redirection は TEXT ベースの Console Redirection です。POST ~ OS (Windows/Linux) のブート開始まで(BIOS 設定含む)のリダイレクションが行えます。

4.10.2 Advanced Video Redirection

リモートでコンソールのリダイレクションを行う場合は、リモートマネージメントコント ローラ Web インターフェースのメニューから「Video Redirection」を選択します。



- Video Redirection の機能を使用するには、別途、ライセンスキーが必要になります。 ライセンスキーおよびライセンスの承認方法については、リモートマネージメントコントローラ アップグレードの取扱説明書を参照してください。
- ▶ ユーザの権限に「Video Redirection enabled」が設定されていない場合、Video Redirection は行えません。「4.9.1 User Management」(→ P.59)の「■ユーザ情報の変更」(→ P.60)を確認してください([V1.66A]以降)。

ライセンスが承認されていると、以下の画面が表示されます。

FUĴITSU		RemoteView	
We make sure			
PRIMERGY	RemoteView@iRMC S2 Web Server		
RX200S4-W2K_X64	Advanced Video Redirection		
IRMC S2	AVR Active Session Table		
 H Power Management H Power Consumption H Sensors 	IP User User Session Storage Cantake Session ID Address Name Id Privilege enabled Control State		
System Event Log Server Management Network Settings Ethernet	0 10.18.90.197 admin 2 Full Control Yes Yes Established		
Ports DHCP DNS	Video Redirection		
	Video Redirection		
Video Redirection Remote Storage	Video Redicida Rende Stoage Local Monitor		
IRMC S2 Telnet Access			
Refresh	Automatic Local Monitor Off when AVR is active		
	Apply Allways On		
@ 2000-2007 Fujitsu Siemens I			

表: Advanced Video Redirection に表示される項目の説明

	項目	説明
AVR Active Session Table		Advanced Video Redirection に接続しているマシンの情報が表示されます。 接続していない場合は表示されません。
	ID	接続マシンの通し番号です。
	IP Address	接続マシンの IP アドレスです。
	User Name	リモートサービスコントローラへのログインユーザ名です。
	User Id	ログインユーザ名の ID 番号です。 詳しくは、「4.9.1 User Management」(→ P.59)をご覧ください。
	Session Privilege	Advanced Video Redirection の操作モードです。 ・View Only : 参照モード ・Full Control : 操作可能モード
	Storage enabled	Remote Storage 接続の状態です。
	Can take Control	Advanced Video Redirection のコントロール可否です。 • YES:コントロール権があります。 • NO:コントロール権がありません。
	Session State	Advanced Video Redirection の接続状態です。
V	ideoRedirection	
	[Start Video Redirection]	Advanced Video Redirection を開始します。
L	ocal Monitor	サーバのモニタ出力を制御します。モニタ出力制御不可の場合、この項 目は表示されません。
	Enable Local Monitor Off	サーバのモニター出力を OFF にする場合、チェックします。この項目を 有効にすると [Always On] が [Turn Off] / [Turn On] に変わります。 [Turn Off]: サーバのモニター出力を OFF にします。 [Turn On]: サーバのモニター出力を ON にします。
	Automatic Local Monitor Off when AVR is active	Advanced Video Redirection 接続時に自動的にサーバのモニター出力を OFF にします([iRMC S2]のみ)。

POINT

▶「Enable Local Monitor Off」を有効にした場合、VideoRedirection 画面の「Extras」メニューからも サーバのモニター出力を ON/OFF することができます。

修 重要

Local Monitor が OFF の状態(「Enable Local Monitor Off」が有効)の場合、サーバ前面のシステム識別灯は点滅状態となります。この状態では、「システム識別灯」ボタンを操作しても点滅状態は変わりません。

[Start Video Redirection] をクリックすると Video Redirection 画面が起動されます。

また、起動時には以下の画面が表示されます。

🚂 AVR Client 🔀		
To take full control, select 'OK'.		
This will cause the primary user's session to become view-only, if one is already signed in.		
To remain in view-only mode, select "Cancer".		
<u>QK</u> <u>Cancel</u>		

マウス、キーボードなどを使用する場合は、[OK] をクリックしてください。Full Control モードになります。[Cancel] をクリックすると View モードとなり、マウス、キーボードな どは使用できません。表示のみとなります。

POINT

 Video Redirection では Java を使用しているため、以下の画面が起動されますが、Video Redirection を 終了しても自動で同時終了されません。手動で終了してください。



修 重要

- ▶ Video Redirection では以下の表示をサポートしていません。
 - ・1024 × 768 24Bit/32Bit Color モード
 - ・標準以外の VGA ドライバの使用
- ▶ リモートマネージメントコントローラの Web インターフェースを終了せずに繰り返し Video Redirection を起動した場合、Java エラーとなったり、Video Redirection が無応答となる場合があり ます。その場合には、ブラウザをすべて終了させ、再度リモートマネージメントコントローラの Web インターフェースを起動してください。
- ▶ Video Redirection でマウス、キーボード操作を有効にした場合、サーバ側では USB 接続のマウス、 キーボードとして認識されます。サーバの設定で USB 接続が無効(USB ドライバがないなど)の場 合は、マウス、キーボードの Video Redirection での操作はできません。

4.10.3 Video Redirection の画面構成

Video Redirection が起動すると、以下の画面が表示されます。 画面上部にメニューがあり、その下に操作ボタンが配置されています。



■ Video Redirection メニュー

項目		説明		
Extras				
	Virtual Keyboard	グラフィカルキーボードを表示します。→「4.10.6 グラフィカルキーボー ド」(P.76)		
	Update Local Monitor State	サーバのモニター出力状態を再取得します。現在のモニター出力状態は、 VideoRedirection 画面の [Lock] ボタンの右側に青字で表示されます。		
	Turn Local Monitor on	サーバのモニター出力を ON にします。		
	Turn Local Monitor off	サーバのモニター出力を OFF にします。		
	Refresh Screen	リダイレクション画面の再読み込みを行います。		
	Take Full Control	Full Control へ変更します。View モード時のみ有効です。		
	Disconnect Session	Video Redirection での接続を切断します。未サポートです。		
	Relinquish Full Control	View モードへ変更します。Full Control モード時のみ有効です。		
	Exit	Video Redirection を終了します。		
Remote Storage		リモートストレージの接続設定を行います。 →「4.10.5 リモートストレージ接続」(P.73)		
Preferences		マウス、キーボード、ログに関する設定を行います。 →「4.10.7マウス、キーボードの設定」(P.76)		
Help		セッション状態、および Video Redirection のバージョンを表示します。		

表: Video Redirection のメニュー



▶「Extras」メニューの「Update Local Monitor State」、「Turn Local Monitor on」、「Turn Local Monitor off」の3項目はモニタ出力制御ができない機種では表示されません。

ボタン	説明		
[Mouse Sync]	サーバ側のマウスカーソル位置をシンクロ動作させます。		
[Ctrl]	【Ctrl】キーに相当します。		
[Alt]	【Alt】 キーに相当します。		
[Win]	【Windows】 キーに相当します。		
[AltGr]	ヨーロッパ仕様キー配列の【AltGr】キーに相当します。未サポートで		
	す。		
[Context]	マウスの右クリックメニューを表示します。		
[Lock]	【Ctrl】/【Alt】/【Windows】キーを押したままの状態になります。 自動解除されませんので、解除するには再度[Lock]をクリックしてく ださい。		
[Ctrl-Alt-Del]	【Ctrl】+【Alt】+【Del】キーの同時押しに相当します。		

■ Video Redirection 操作ボタン

表: Video Redirection の操作ボタン

POINT

▶ Windows にログオンする場合は、[Ctrl-Alt-Del] をクリックしてください。

修重要

▶ リモートマネージメントコントローラのWebインターフェースを終了せずに、URLを変更して別の リモートマネージメントコントローラに接続した場合、Video Redirectionの「Remote Storage」メ ニューは表示されません。別のリモートマネージメントコントローラに接続する際は、一旦ブラウ ザを終了させてください。Remote Storage が使用できない場合、その旨のメッセージが表示されま す。

4.10.4 マウスカーソルのシンクロ動作設定

[Mouse Sync] をクリックすると、マウスカーソルをシンクロさせることができます。 [Mouse Sync] をクリックしてもシンクロしない場合、Video Redirection 対象のサーバで以下 の設定を行ってください。 以下の設定を行った後は、[Mouse Sync] をクリックしてマウスのシンクロ操作を行ってくだ さい。

■ Windows の場合

● 画面の設定

- 1 コントロールパネルを起動し、「画面」を選択します。
- 2 [設定] タブの [詳細] をクリックします。
- 3 [トラブルシューティング] タブの「ハードウェア アクセラレータ」を「最大」から左に1メモリ移動し、[OK] をクリックします。

- マウスの設定
 - 1 コントロールパネルを起動し、「マウス」を選択します。

2 マウスの動作設定を行います。

<u>Windows 2000 Server の場合</u>

[動作]タブの「加速」項目を「なし」に設定します。

<u>Windows Server 2003 の場合</u>

[ポインタオプション] タブの「精度を高める」にチェックが入っている場合はチェッ クを外します。

3 Video Redirection の [Mouse Sync] をクリックし、マウスカーソルを同期させます。

マウスカーソルがずれる場合、「速度」項目のスライダーを調整してください。

■ Linux の場合

● RHEL-AS3(x86) / RHEL-AS3(IPF) / RHEL-ES3(x86) の場合

1 X Window の設定ファイルを vi エディタなどで開きます。

```
>vi /etc/X11/XF86Config
```

2 以下の2行を変更します。

```
      Identifier
      "Mouse0"
      → Identifier
      "DevInputMice"に変更

      Driver
      "mouse"
      >
      Identifier
      "DevInputMice"に変更

      Identifier
      "DevInputMice"
      →
      Identifier
      "Mouse0"に変更

      Driver
      "mouse"
      →
      Identifier
      "Mouse0"に変更

      Option
      "Protocol" "IMPS/2"
      →
      Identifier
      "Mouse0"に変更
```

- **3** ファイルを閉じ、X Window を再起動します。
- 4 [メイン・メニュー] ー [個人設定] ー [マウス] を起動し、[動き] タブを クリックし、「加速」を調整します。 スライドを動かす量については Web インターフェースを起動しているマシン、対象 サーバによって異なります。
 - Video Redirection のカーソルに対しサーバ側カーソルが追いついてこない場合
 [速い]の方向へスライドを動かしてください。
 - Video Redirection のカーソルに対しサーバ側カーソルが先に進んでしまう場合
 [遅い]の方向へスライドを動かしてください。

● RHEL-AS3(x86) / RHEL-AS3(IPF) / RHEL-ES3(x86) 以外の場合

1 次のコマンドを実行します。

```
>xset m 0 0
```
● SUSE Linux の場合

- 1 マウスが複数インストールされている場合、2つ目以降のマウスを削除します。
 - 1. メニューから「sax32」を起動します。
 - 2. 「Input device」→「mouse」の2つ目以降のマウスを Remove します。
- メインメニューから「コントロールセンター」→「Input Device」→ 「Mouse」を選択します。
- **3**「Advance Pointer Accelerator」の値を「1x」に設定します。

修重要

- ▶ RHEL-AS3(x86) / RHEL-AS3(IPF) / RHEL-ES3(x86)のマウスカーソルのシンクロ動作設定を行った 場合、以下の制約があります。
 - ・gpm サービスを使用する際、異常が発生することがある
 - X-Window のマウス設定(redhat-config-mouse コマンド含む)を行うと、サーバのマウスが動作 不能になる

Video Redirection を終了させても設定は継続されるため、Video Redirection 終了時には設定を元に 戻し、X-Window を再起動してください。

マウスのシンクロ動作設定は上記 OS 以外はサポートしていません。
 また、マウスの動作を制御するソフトウェアが起動している場合、マウスカーソルのシンクロ動作が行えない場合があります。

4.10.5 リモートストレージ接続

「■ Video Redirection メニュー」(→ P.70)から「RemoteStorage」を選択すると、リモートス トレージ接続を実行することができます。リモートストレージ接続とは、Web インター フェースを起動しているマシンの外部記憶装置を、Video Redirectionの対象サーバのリモー ト接続装置として接続させる機能です。接続したい装置を選択し[Connect]をクリックする と、Video Redirectionの対象サーバに接続されます。



- ▶ リモートストレージ接続の機能を使用するには、別途ライセンスキーが必要になります。 ライセンスキー、およびライセンスの承認方法については、リモートマネージメントコントローラ アップグレードの取扱説明書を参照してください。
- ▶ リモートストレージ接続の機能で利用できる機器は、以下のとおりです。ただし、DVD ドライブにおける書き込み機能は未サポートです。
 - ・内蔵フロッピーディスクドライブ
 - ・ATAPI CD-ROM ドライブ
 - ・ATAPI DVD ドライブ
 - ・USB フロッピーディスクドライブ
 - ・USB CD-ROM ドライブ
- ▶ リモートストレージ接続は、Video Redirection 終了時に自動的に解除されます。
- ▶ リモートストレージで接続された機器は、サーバ側では USB 接続機器として認識されますので、 USB が使用できない環境(USB ドライバがないなど)では使用できません。

POINT

- ▶ 装置の接続を解除したい場合は、[Disconnect] をクリックします。
- ▶ リモートストレージの一覧に表示されていない装置がある場合は、[Refresh]をクリックしてください。装置の再検索を行います。
- ▶ 画面に表示されない装置(ImageFile など)を追加する場合は、[Browse]をクリックして、指定してください。
- ▶ フロッピーディスクや CD-ROM などは、媒体がセットされていないと一覧には表示されません。
- ▶ Remote Device の追加接続や個別解除はできません。
- BIOS が USB Legacy をサポートしている場合には、Remote Storage で接続した媒体から Boot が行え ます。BIOS セットアップユーティリティで「Multiboot」および「USB Legacy Support」を [Enabled]に設定し、Remote Storage 接続した媒体を BOOT 順番の一番上に設定してください。

■ RedHat でのリモートストレージ接続で複数台接続する方法

POINT

▶ 各コマンドの詳細は Linux コマンドのマニュアルを参照してください。

● RHEL5(x86)、RHEL5(Intel64) 以外の場合

RHEL5(x86)、RHEL5(Intel64)以外の機器に対してのリモートストレージ接続は、デフォルト 設定では1台のみ有効ですが、以下の方法を行うことで複数台の機器への接続が可能です。

例)フロッピーディスクドライブ/CD-ROMドライブの2台を同時接続する場合 (FPD:No0,CD-ROM:No.1)

- 1 クライアント側でリモート接続します。
 - 1. 「■ Video Redirection メニュー」(→ P.70) から「Remote Storage」をクリック します。
 - 2. 表示された画面で、フロッピーディスクドライブ/ CD-ROM ドライブを選択して [Connect] をクリックします。

2 サーバの RedHat 画面(Video Redirection)で以下のコマンドを実行します。

cat /proc/scsi/scsi

接続デバイス情報が表示されます。

3 Remote Storage で接続された1台目(FPD)の設定のうち、Host名、 Channel、id、Lunの情報を控えておきます。

(例:Host名:scsi3Channel:0id:0Lun:0)

4 以下のコマンドを実行します。

echo "scsi add-single-device A B C D" >/proc/scsi/scsi

上記のA、B、C、Dにはそれぞれ以下の内容を設定してください。

	表:英字に設定する内容					
記号	意味	説明				
Α	Host 名の scsi 番号	例えば Host 名が scsi3 なら A は 3 となります。接続するたびに 変わります。				
В	Channel 番号	Remote Storage 接続1台目と同じ Channel 番号を設定します。				
С	id 番号	Remote Storage 接続1台目と同じ id 番号を設定します。				
D	Lun 番号	「Remote Storage 接続1台目のLun 番号」+1の数字を設定します。				

例: Host 名:scsi3 Channel:0 id:0 Lun:0 の場合

echo "scsi add-single-device 3 0 0 1" >/proc/scsi/scsi

5 以下のコマンドを実行します。

cat /proc/scsi/scsi

追加設定で CDROM が設定されたことを確認します。

6 以下のコマンドを実行し、media フォルダに cdrom が追加されることを確認します。

ls /media

cdrom1 があれば問題ありません。

7 以下のコマンドを実行し、RemoteCDROM に入れることを確認します。

cd /media/cdrom1

8 以下のコマンドを実行し、設定を削除します。

設定を削除せずに Remote Storage 接続を終了すると、cdrom1の設定が残ったままとなるため、次回の接続では cdrom2 となります。

echo "scsi remove-single-device A B C D" >/proc/scsi/scsi

上記のA、B、C、Dには、「表:英字に設定する内容」(\rightarrow P.75)の内容を設定してください。

9 以下のコマンドを実行し、設定が削除されたか確認します。

cat /proc/scsi/scsi

10 クライアントで Remote Storage の接続を解除します。 Web コンソールの画面で [Disconnect] をクリックします。

)RHEL5(x86)、RHEL5(Intel64) の場合

RHEL5(x86)、RHEL5(Intel64)ではそのままで接続は可能ですが、自動で OS にマウントされません。

リモートストレージを使用する場合はマウントコマンドを使用してマウントしてください。

フロッピーディスクの場合

mount /dev/hdb /media/floppy

・ CD-ROM の場合

mount /dev/scd0 /media/cdrom

<u>4.10.6 グラフィカルキーボード</u>

「■ Video Redirection メニュー」(→ P.70) から「Extras」→「Virtual Keyboard...」の順に選択 すると、Video Redirection の画面上にグラフィカルキーボードを表示することができます。 画面上のキーボードをマウスでクリックすることで、対応するキーが対象のサーバに送信さ れます。

Vir	tua	l Key	boa	rd																							×
K	syb	оаго	1																								_
	ES	SC		F1	F2	FS	3	F4		F5	F6	F7	F	8	F9	F	10	F11	F12		PSC	Sik	brk	Lo	ck		
半.	1						-				0				- 1	~			Deal	C a							-
1/3	È	1	2	3	1,	4	5	Ļ	2	4	8	19	1		_	_	4	+	Dack	зр	INS	HM	PUP	INLK	1	2	
	Ľ	Tab	q		w	e	3	r	t	y	1	L	i	0	P	¢	9	E	1		DEL	END	PDN	7	8	9	т.
	Γ	ħ≠		a	s	d		f	g	1	1	j	k	1	;	Ι	:	En	ter					4	5	6	т
	s	hift	T	z	x	c	T	v	b	1	1	m	,	•	1		X	s	hift			٠		1	2	3	
	Ct	ri 🚦		Alt	R A	·							E	ing	Alt				Ctrl		+	÷	+	0	1		ENT

4.10.7 マウス、キーボードの設定

「■ Video Redirection メニュー」(→ P.70) から「Preferences」→「Preferences...」の順に選択 すると、マウスの動作モード、キーボードのキー配列、ログの採取、画面の設定が行えます。 設定を選択後、[OK] をクリックすると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。 ユーザ名とパスワードを入力し、[はい] をクリックすると設定が反映されます。



修重要

▶ サーバ側で Num Lock On の状態で Video Redirection を行うと、クライアント側も Num Lock On となります。

■ Mouse タブ

マウスの動作モードを設定します。

表:マウスの設定

	項目	説明
Mouse Mode:		
	Hide Mode (Relative)	操作側のマウスカーソルを表示しません(モードは Relative Mode)。
	Absolute Mode	X軸、Y軸アドレス移動モードです。
	Relative Mode	相対アドレス移動モードです。

■ Keybord タブ

キーボードのキー配列、および接続タイプを設定します。

表:キーボードの設定

項目	説明				
Language:	キーボードのキー配列を設定します。日本語キーボードが選択可能です。				

■ Logging タブ

Video Redirection のログを作成します。

表:ログの作成方法

項目		説明				
Global Logging		ログの出力先を指定します。				
None		ログファイルを出力しません。				
	Console	Java Console にログを出力します。				
	Log File	指定ファイルにログを出力します。				
	Console and Log File	Java Console、および指定ファイルにログを出力します。				
Co	nsole Log File	出力するログファイルを指定します。				

■ Misc タブ

その他、Advanced Video Redirection デバッグ項目([V1.66A] 以降)を設定します。

表:デバッグ項目の設定

項目	説明
Overwrite Native Library	DLLの上書きを許可します(未サポート)。
Hardware Compression	ハードウェアによる圧縮を許可します (未サポート)。

4.11 Remote Storage

リモートストレージの状態を表示する場合は、リモートマネージメントコントロー ラ Web インターフェースのメニューから「Remote Storage」を選択します。

Video Redirection で設定した Remote Device の状態が表示されます。

FUĴĨTSU	No. of the second s	RemoteView						
We make sure								
	Remote View@iRMC S2 Web Server							
TX200S4W2K3	Remote Storage							
in System Information	Remote Storage Connection Status							
⊞ Sensors ⊞ System Event Log	No IP Port Share Share Share Address Number Index Origin Status							
Server Management ■ Network Settings ■ Alorting	0 0.0.0.0 5901 0 None Idle 1 0.0.0.0 5901 0 None Idle							
Herting User Management Console Redirection								
Remote Storage IRMC S2 SSH Access	Remote Storage Server							
IRMC SZ Telnet Access	No IP Address or DNS Name							
Refresh	h							
	Apply Connect Disconnect							
© 2000-2007 Fujitsu Siemens	Computers All rights reserved.							

項目	説明
Remote Storage Connection Sta	atus
No	Remote Device の通し番号です。
IP Address	Device が存在するサーバ/ PC の IP アドレスです。
Port Number	Remote Device が接続(通信)に使用するポート番号です。
Share Index	接続の際に割り当てられた番号です。
Share Origin	Device が存在するサーバ/PC での状態です。 • None:接続不可(未検索状態) • Applet:接続可能(検索済み状態)
Share Status	現在の接続状態です。 ・ Idle:未接続状態 ・ Connected:接続状態
Remote Storage Server	
No	Remote Storage サーバの通し番号です。
IP Address or DNS Name	リモート接続するストレージサーバの IP アドレス、または DNS の登 録名を指定します。
[Apply]	Remote Image Server の設定を保存します。
[Connect]	接続対象のイメージサーバを接続します。
[Disconnect]	接続されているイメージサーバを接続解除します。

表:Remote Storage に表示される項目の説明

POINT

- ▶ この画面でリモートストレージ接続は行えません。接続は Video Redirection から行ってください。
- ▶ [Disconnect] をクリックするとリモートストレージ接続も解除されます。
- ▶ ユーザの権限に「Remote Storage enabled」が設定されていない場合、Video Redirection は行えません。「4.9.1 User Management」(→ P.59)の「■ ユーザ情報の変更」(→ P.60)を確認してください([V1.66A] 以降)。
- ▶ Remote Storage Server を使用するには、Remote Storage Server プログラムが対象サーバにセット アップされている必要があります。
- ▶ リモートストレージ接続(CD-ROM やフロッピーディスク)と Remote Storage Server 接続を同時に 行うことはできません。どちらか一方の接続のみを行ってください。

4.12 iRMC SSH Access

リモートマネージメントコントローラへ SSH 接続を行う場合は、リモートマネー ジメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「iRMC S2 SSH Access」を選択します。



4.12.1 接続方法と終了方法

● 接続方法

- [Connect] をクリックします。
 iRMC へ接続されます。
- 2 iRMCの接続 ID とパスワードを入力します。

● 終了方法

[Disconnect] をクリックします。
 iRMCへの接続を終了します。
 メインメニューから「quit」を選択せずに [Disconnect] をクリックした場合は、自動的に接続を終了します。
 なお、接続を終了しても画面は閉じません。画面を閉じるには、「ファイル」メニューの「終了」を選択してください。

4.12.2 メインメニュー

リモートマネージメントコントローラのメインメニューです。

表示されるメニューはサーバにより異なり、使用可能なメニューが表示されます。 項目の左側の番号や文字を入力すると、各項目が実行されるか、または下位メニュー項目に 移動します。利用できない機能には(*)が表示されます。

【0】キーを押すと上位メニューへ移行します。メインメニューを表示しているときに【0】 キーを押すと、接続が切断されます。

メニュー項目	説明
System Information	本機能は未サポートです。
Power Management	サーバの電源制御を行います。選択すると電源制御メニューが表示 されます。
Enclosure Information	本機能は未サポートです。
Service Processor	本機能は未サポートです。
Change password	本機能は未サポートです。
Console Redirection (EMS/ASC)	コンソールをリダイレクトするときに使用します。
Start a Command Line shell	本機能は未サポートです。

表:リモートマネージメントコントローラのメインメニュー

PowerManagement

表: Power Management メニュー

メニュー項目	説明
Immediate Power Off	OS の状態に関係なく、サーバの電源を切断します。
Immediate Reset	OS の状態に関係なく、サーバを再起動します。
Power Cycle	OS の状態に関係なく、サーバの電源を切断し、電源を再投入します。
Power On	サーバの電源を投入します。
Graceful Power Off (Shutdown)	サーバをシャットダウンします。 リモートマネージメントコントローラがシャットダウン要求をサーバ の ServerView エージェントに送信します。
Graceful Reset (Reboot)	サーバを再起動します。 リモートマネージメントコントローラがリセット要求をサーバの ServerView エージェントに送信します。
Raise NMI (via iRMC S2)	サーバに NMI 信号を送信します。NMI をサポートしていないサーバ では選択できません([V1.66A] 以降)。

■ Console Redirection (EMS/ASC)

リモートマネージメントコントローラのコンソールリダイレクションによって、サーバの画 面およびキーボード操作を、リモートコンソールへリダイレクトできます。コンソールリダ イレクションを選択すると、サーバの画面がリモートマネージャウィンドウに転送されます。 キーボードから入力する内容は、サーバのキーボードコントローラに送られます。 コンソールリダイレクションによって以下の操作が行えます。

- POST 中の画面表示
- BIOS セットアップ

コンソールリダイレクションは、チルダ(~)とピリオド(.)、または "Esc" と "("を2秒以内に続けて入力すると終了します。

4.13 iRMC Telnet Access

リモートマネージメントコントローラへ Telnet 接続を行う場合は、リモートマネー ジメントコントローラ Web インターフェースのメニューから「iRMC S2 Telnet Access」を選択します。



接続方法と終了方法、およびメインメニューは、「4.12 iRMC SSH Access」(→ P.80) と同様 です。それぞれ「4.12.1 接続方法と終了方法」(→ P.80) および「4.12.2 メインメニュー」(→ P.81) を参照してください。

POINT

▶ リモートマネージメントコントローラへ Telnet 接続を行う場合は、あらかじめ Network Settings 画面の Ports で Telnet を有効にする必要があります。「4.7 Network Settings」(→ P.51)を参照してください。

4.14 Session Logout

リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースからログアウトする 場合は、リモートマネージメントコントローラ Web インターフェースのメニュー から「Logout」を選択します。

FUĴÎTSU	Caller States	RemoteView
We make sure		
PRIMERGY	Remoteviewo IRMC S2 Web Server	
IRMC 82	Session Logout	
© 2000-2007 Fujitsu Siemens	Computers All rights reserved.	

表: Session Logout に表示される項目の説明

ボタン	説明
[Logout]	[Logout] をクリックすると、一度ログアウトの確認が行われた後に、リモートマ ネージメントコントローラ Web インターフェースとのセッションを終了します。 ログアウト後、[Logout] は [Login] に変わります。再度ログインする場合は、 [Login] をクリックしてください。

POINT

▶ [Logout] によりログアウトしても、ブラウザは終了しません。

索引

<

グラフィ	[,] カルキーボー	ド								7	6

ま

マウスカーソルの	シンクロ動作設定		. 71
----------	----------	--	------

り

リモートマネージメントコントローラ 10
対応機種10
ユーザ名とパスワードの設定14
IP アドレスの設定
Web インターフェースの機能 10
留意事項11

V

Video Redirection

画面構成	70
グラフィカルキーボード	76
操作ボタン	71
マウスとキーボードの設定	76
メニュー	70
リモートストレージ接続	73

W

Web インターフェース	
起動	
级了	22

終了
メニュー一覧19
ライセンスキーの設定27
Advanced Video Redirection67
Alerting
BIOS Text Console
Certificate Upload
Component Status
Console Redirection
DHCP Configuration
Directory Service Configuration 64
DNS Configuration
Email Alerting
Fans
Generate a self signed RSA Certificate . 30
iRMC SSH Access
iRMC S2
iRMC S2 Information
iRMC Telnet Access
Network Interface
Network Settings 51

リモートマネージメントコントローラ ユーザーズガイド

B7FH-5251-01 Z0-00

発行日 2007年9月

発行責任 富士通株式会社

- ●本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- ●本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- ●無断転載を禁じます。